

令和 5 年度

事 業 報 告 書

法人本部

令和 6 年 6 月 18 日

社会福祉法人寿徳会

令和 5 年度 事業報告書

1. 理事会・評議員会の開催状況 (R.5.4.1～R.6.3.31)

法人運営の重要事項等について審議・決議を行うため次の通り開催しました。

開催場所：特別養護老人ホームはだの松寿苑 5階スカイホール

開催月日	会 議	議 案 内 容
5 月 26 日 (金)	監事監査	柳沢誠一監事(事業運営)、國井隆監事(計算書類等) (事務局：久保谷理事長、久保谷常務理事、太田理事兼事務長、久保谷施設長、小室施設長、寺尾寮長他)
6 月 2 日 (金)	第 1 回理事会	(1) 決議事項 ①令和 4 年度事業報告及び計算書類等の承認の件 ②次期役員(理事・監事)候補者の件 ③はだの松寿苑(前)施設長の久保谷勤氏への退職金支給の件 ④定時評議員会の招集の件 (2) 報告事項 ①理事長及び常務理事の職務執行状況の報告
6 月 21 日 (水)	第 1 回評議員会 (定時)	(1) 報告事項 ①令和 4 年度事業報告の件 (2) 決議事項 ①令和 4 年度計算書類及び財産目録の承認の件 ②理事 6 名及び監事 2 名の選任の件
6 月 21 日 (水)	第 2 回理事会	① 理事長及び常務理事(業務執行理事)の選任の件
11 月 6 日 (月)	第 3 回理事会	(1) 決議事項 ①令和 5 年度上半期事業報告の件 ②令和 5 年度第一次補正予算の件 ③松下園(本館棟・別館棟)改修工事の件 ④松下園改修工事の契約締結方法並びに指名業者選定の件 ⑤松下園改修工事に伴う設計・工事監理業者の選定の件 ⑥評議員会の招集の件 (2) 報告事項 なし

11月15日(水)	第2回評議員会	(1) 報告事項 ①令和5年度上半期事業報告の件 ②松下園別館棟改修工事の件 (2) 決議事項 ①令和5年度第一次補正予算の件
3月4日(月)	第4回理事会	(1) 決議事項 ①令和5年度第二次補正予算の件 ②令和6年度事業計画の件 ③令和6年度式収支予算の件 ④松下園本館棟改修工事の件 ⑤松下園本館棟改修工事に伴う契約締結方法並びに指名業者選定の件 ⑥松下園改修工事代金支払に伴う施設整備等積立資産取崩の件 ⑦苦情解決第三者委員の選任の件 ⑧評議員会の招集の件 (2) 報告事項 ①指導監査及び実地指導の結果報告並びに改善措置報告の件 ②理事長の職務執行状況報告の件
3月13日(水)	第3回評議員会	(1) 決議事項 ①令和5年度第二次補正予算の件 ②令和6年度事業計画の件 ③令和6年度式収支予算の件 (2) 報告事項 ①指導監査及び実地指導の結果報告並びに改善措置報告の件 ②松下園本館棟改修工事の件 ③松下園本館棟改修工事に伴う契約締結方法並びに指名業者選定の件

2. 借入金返済状況 (R5.4.1～R6.3.31)

単位：円

借入先	福祉医療機構	神奈川県社協	横浜銀行	横浜銀行	横浜銀行
施設名	キャンパス秦野	キャンパス秦野	はだの松寿苑	はだの松寿苑	はだの松寿苑
借入年月日	H15.7.2	H15.5.14	H28.4.11	H16.9.27	H27.4.30
当初借入金額	206,100,000	65,000,000	600,000,000	180,000,000	25,000,000
返済日	R5.6.10	R.5.4.25	年4回払い	年4回払い	当座貸越契約
元金	10,300,000	3,250,000	30,000,000	9,000,000	0

(内県補助金)	(7,725,000)	(2,437,000)			
利 息	36,050	6,500	2,587,391	427,572	369,754
(内県補助金)	(27,000)				
元金残高	完済 0	完済 0	367,500,000	18,000,000	25,000,000
借入金元金返済合計			52,550,000		
借入金利息支払合計			3,427,267		
元金・利息合計			55,977,267		
(神奈川県からの借入償還金補助金合計)			(10,189,000)		
3 月 31 日現在の借入金残高合計			410,500,000		

3. 寄附金 (R5.4.1～R6.3.31)

(1) 法人へ寄附金

単位：円

日 付	ご 芳 名	寄附使途	寄付内容	金 額
R5. 6. 9	秦野ガス(株) 様	法人のために使用	現金	10,000
R5. 6. 26	望月経営労務管理事務所 様	〃	〃	20,000
R5. 6. 27	司法書士片倉修司 様	〃	〃	10,000
R5. 7. 6	秦野金属(株) 様	〃	〃	10,000
R5. 7. 13	金子電気管理事務所金子辰之様	〃	〃	100,000
R5. 9. 7	(株)SHICHIJO 様	〃	〃	50,000
R5. 10. 28	フェスティバル祝金(26 件)	〃	〃	243,000
R5. 12. 14	テックシーリング(株) 様	〃	〃	30,000
R6. 2. 9	寿徳会後援会 様	〃	〃	350,000
合 計				823,000

(2) はだの松寿苑への寄附金

単位：円

日 付	ご 芳 名	寄附使途	寄付内容	金 額
R5. 4. 5	山口 節朗 様	施設のために使用	現金	10,000
R5. 6. 7	山口 節朗 様	〃	〃	10,000
R5. 6. 12	宇山 晃弘 様	〃	〃	10,000
R5. 6. 16	(株)エスティサービス 様	〃	〃	10,000
R5. 6. 21	(株)大地測量設計 様	〃	〃	20,000
R5. 7. 6	田口設備工業(株) 様	〃	〃	20,000
R5. 7. 31	府川 道生 様	〃	〃	10,000
R5. 8. 18	木下 久美子 様	〃	〃	30,000
R5. 11. 1	山口 節朗 様	〃	〃	10,000
R5. 12. 20	はだの松寿苑家族会 様	〃	〃	30,000
R5. 12. 27	山口 節朗 様	〃	〃	10,000
R6. 1. 20	島田 利子 様	〃	〃	20,000

R6. 2. 1	(株)セクメット	"	"	15,000
R6. 2. 7	関 正美	"	"	29,800
R6. 3. 29	はだの松寿苑家族会 様	"	"	71,600
合 計				306,400

(3) 松下園への寄附金

単位：円

日 付	ご 芳 名	寄附使途	寄付内容	金 額
R5. 5. 3	古谷 日出男 様	施設のために使用	現金	100,000
R5. 5. 23	西川 美智子 様	"	"	100,000
R5. 6. 7	(株)サガミ興商 様	"	"	10,000
R5. 6. 16	松本 聡 様	"	"	100,000
R5. 6. 16	輿水 忠夫 様	"	"	50,000
R5. 6. 16	福島 健太郎 様	"	"	30,000
R5. 6. 19	輿水 忠夫 様	"	"	50,000
R5. 6. 28	寒河江 友子 様	"	"	50,000
R5. 7. 9	松下園家族会 様	"	"	20,000
R5. 10. 4	神楽会 様	"	"	40,000
R5. 10. 28	松下園家族会 様	"	"	40,000
R5. 11. 23	久保寺 常雄 様	"	"	10,000
R5. 12. 5	松下園家族会 様	"	"	30,000
R5. 12. 11	北地区福祉ふれあいまつり実行委員会 様	"	"	10,000
R6. 3. 10	松下園家族会 様	"	"	20,000
R6. 3. 25	西湘地域労働者福祉協議会 様	"	"	45,000
合 計				705,000

(4) キャンパス秦野への寄附金

日 付	ご 芳 名	寄附使途	寄付内容	金 額
R6. 2. 7	36 期きずなの会 様	施設のために使用	現金	50,000
合 計				50,000

(5) Colors 学童への寄附金

日 付	ご 芳 名	寄附使途	寄付内容	金 額
R5. 12. 11	久保谷 さち子 様	施設のために使用	現金	2,300
R6. 2. 7	久保谷 さち子 様	"	"	4,500

合 計	6,800
-----	-------

法人総合計 1,891,200 円

4. 連絡調整会議（施設長会議）

※ 出席者： 理事長、各施設長、副施設長、法人事務局他

開催年月日	内容等	開催場所
R5. 5. 1（月）	各施設の近況報告、次月の予定等、理事長より	はだの松寿苑
R5. 5. 29（月）	同上	〃
R5. 6. 26（月）	同上	〃
R5. 7. 31（月）	同上	〃
R5. 8. 28（月）	同上	〃
R5. 9. 25（月）	同上	〃
R5. 10. 30（月）	同上	〃
R5. 11. 27（月）	同上	〃
R5. 12. 25（月）	同上	〃
R6. 1. 29（月）	同上	〃
R6. 2. 26（月）	同上	〃
R6. 3. 25（月）	同上	〃

5. (株)福祉会計サービスセンターとの会計業務打ち合わせ

対象拠点区分：法人本部・はだの松寿苑・松下園・キャンパス秦野・Colors 学童保育

出席者：理事長、各施設会計責任者及び出納職員、

(株)福祉会計サービスセンターより職員 3 名（北村さん・菅さん、武井さん）

実施日	主な業務内容
R5. 4. 19（水）	3 月分月次処理のチェック、令和 4 年度決算計算書類等準備作業
R5. 5. 15（月）	令和 4 年度決算計算書類等のまとめ作業、消費税計算等
R5. 6. 23（金）	福祉医療機構へ提出の「財務諸表等入力シート」のチェック（リモート）
R5. 7. 26（水）	4～5 月分月次処理のチェック、財務システム及び資産管理システムの期首更新に関するチェック、令和 5 年度事業計画書の閲覧及び当初予算のチェック
R5. 9. 1（金）	6 月分月次処理のチェック、賞与引当金のチェック、情報公開状況のチェック、インボイス制度開始に向けた準備状況に関する確認
R5. 9. 27（水）	7 月分月次処理のチェック、会計業務に係る辞令のチェック、インボイス制度開始に向けた準備状況に関する確認（継続）
R5. 10. 10（火）	8 月分月次処理のチェック、収益に関するチェック、事業未収金に関するチェック、インボイス制度開始に向けた準備状況に関する確認（継続）
R5. 12. 1（金）	9 月分月次処理のチェック、予算執行状況等に関するチェック、インボイス制度開始に向けた準備状況に関する確認（継続）

R5. 12. 18 (月)	10 月分月次処理のチェック、松下園別館の内部改修工事に関するヒアリング
R6. 1. 23 (火)	11 月分月次処理のチェック、リース取引に関するチェック、寄附金台帳に関するチェック
R6. 2. 16 (金)	12 月分月次処理のチェック、附属明細書に関するチェック
R6. 3. 15 (金)	1 月分月次処理のチェック、退職共済サマリー表に関するチェック

6. 社会保険労務士望月経営管理事務所との打ち合わせ

件 数 約 35 回

場 所 はだの松寿苑相談室、松下園相談室、キャンパス秦野寮長室等

内 容 労働・社会・雇用保険、就業規則、各規程等の相談・指導、事務手続きの代行等

7. 法人内全体研修の実施

日 時	内 容	講 師	場 所	人数
5 月 12 日 (金)	接遇とホスピタリティ研修①「法人職員としての心がまえを身に付ける」	Colors 学童保育 職員 大畑眞由美	はだの松寿苑 5 階スカイホール	19
5 月 26 日 (金)	接遇とホスピタリティ研修②「法人職員としての心がまえを身に付ける」	同 上	同 上	9
6 月 8 日 (木)	職員研修① ・レジリエンス ・ストレスマネジメント	オフィサーズスレッジ 代表 江口智子氏	同 上	19
7 月 6 日 (木)	職員研修② ・接遇、マナー ・コミュニケーション	同 上	同 上	18
10 月 12 日 (木)	リーダー研修① ・マネジメント ・リーダーシップ	同 上	同 上	14
11 月 10 日 (金)	リーダー研修② ・新人職員育成強化 ・コーチング	同 上	同 上	17
12 月 7 日 (木)	職員研修① ・レジリエンス ・ストレスマネジメント	同 上	同 上	16
1 月 12 日 (金)	防犯研修 ・防犯の基礎と実践	秦野警察署	松下園	23

	・各事業所の防犯を考える			
2月9日(金)	職員研修② ・接遇、マナー ・コミュニケーション	オフィサーズレジ 代表 江口智子氏	はだの松寿苑 5階スカイホール	14
3月8日(金)	管理職研修 ・キャリアを振り返る ・ハラスメント防止 ・ウェルビーイング	同 上	同 上	10

8. 法人内表彰の実施

令和5年4月3日(月)、職員表彰規定による「永年勤続者表彰」を以下の通り実施しました。

単位：人

年 数	10 年	20 年	30 年	40 年	合計
はだの松寿苑	4				4
松下園	4	2	1	1	8
キャンバス秦野		3			3
合計	8	5	1	1	15

令和 5 年度

事 業 報 告 書

【特別養護老人ホーム はだの松寿苑】

- ① 入居
- ② 短期入所
- ③ 通所介護
- ④ 居宅介護支援

令和 6 年 6 月 18 日

社会福祉法人寿徳会

令和 5 年度 事業報告

今年度はウィズコロナを掲げ、家族との面会制限を段階的に解除しながらコロナ禍以前の状態に戻すよう進めてきました。7月には、新型コロナウイルス感染症が発生しましたが、感染予防対策を徹底したことで最小限に防ぐことができました。そのほか、外部研修への積極的な参加や実習生やボランティアの受け入れを再開しています。

人事考課制度においては、上司との面談を重ね、育成及び定着に繋がるよう取り組み、ICT（通信機器）やDX（デジタル化）においても、電子機器の活用と日報等の電子化を進めたことで業務効率化に努めてきました。

1、ウィズコロナへの転換

「感染者状況」

	入居者（利用者）	職員
感染者数（4月～9月）	0人	19人
感染者数（10月～3月）	8人	5人
年間合計	8人	24人

ア：感染症が疑われる職員は、抗原検査やN95マスクを着用して感染拡大防止に努めた。

イ：職員が体調不良の場合、出勤を控えるように促した。

ウ：家族の面会は、15分間の制限及びマスク着用の協力のもと再開した。

エ：ボランティアの受け入れを再開した。

オ：研修生及び、実習生を積極的に受け入れた。

2.人材の確保・育成・定着

(1) 人材確保

	介護職	看護職	その他	合 計
入職者	正4・パ2	パ1	リハビリ正（ケアマネ）1	正5・パ3
退職者	正3・パ3	パ2	リハビリ正1	正4・パ5
増 減	正1・パ△1	パ△1	±0	正1・パ△2

正⇒ 正職 パ⇒ パート

●応募ルート（8名）：介護専門学校1名、リクナビ（新卒）2名、ハローワーク2名、ホームページ1名、職員紹介2名

●退職理由：自己都合9名

（内訳：業務指導3名、異動拒否1名、高齢1名、その他4名）

●定着率：93.3%（R4年度：92.7% R3年度：96.5%）

●新卒者（4名）：大卒2名、専門卒1名、高卒1名

(2) 人材の確保

ア：9月、3校の専門学校に訪問したことで、学生2名が採用に繋がった。

イ：大卒採用面接では、法人内で連携して説明会やインターンシップに計5名受け入れたが、採用には結びつかなかった。

ウ：令和6年度EPA外国人介護福祉士候補者の獲得について、インドネシア人1名が内定した。

(3) 人材育成

ア：2ヶ月毎にeラーニングを配信し、視聴達成度74.1%（正職員67名が対象、うち未実施10人）の結果となった。

イ：三幸カレッジと共同開催した介護福祉士実務者研修の受講を促し、職員3名が修了した。

ウ：ケアマネジャー普及のため、職員1名の試験代補助を行った。

エ：人事考課では、定期面談と個人目標（アクションプランシート）を計画通り実施した。

(4) 人材定着

ア：9月に職員ストレスチェックを実施した結果、17名が高ストレスと判明した。また、高ストレスとなった職員には、担当者から専門医への案内をしたが受診した職員はいなかった。

イ：前年度に実施した職員アンケート結果のまとめを施設全体にフィードバックした。

3. ICT化（通信）・DX（デジタル）の普及促進

ア：デイサービス及び、ショートステイのタブレット活用によって業務負担の軽減に繋がった。

イ：各事業所の日報について、紙媒体からデジタル化に移行したことで、記録の一覧化や紙の削減に努めた。

4. ケアの質向上

(1) 法令遵守と虐待ゼロ

ア：8月と3月に、身体拘束虐待ゼロ委員会主催の虐待防修を開催し、職員に周知した。

イ：不適切ケア： 1件（上期：1件 下期：0件） 下期なし

(2) 介護事故（薬・転倒骨折）の撲滅

(前年度)

	転倒・転落	薬関係	その他	合 計
ヒヤリハット（※）	1203 (1479)	276 (276)	1274 (1360)	2753 (3115)
事故報告	94 (111)	19 (26)	26 (36)	139 (173)
	1297 (1590)	295 (302)	1300 (1396)	2892 (3288)

※事故には至らないが、ヒヤッとしたり、ハッとしたりすること

【評 価】

- 居室内カメラの導入により、不明な事故を検証したことで再発防止策を立てることができた。
- 転倒・転落事故について、昨年度と比較するとヒヤリハット件数が12%減少となり、事故件数は20%減少した。効果として、ヒヤリハットを共有したことで環境整備等の改善が事故件数の減少に繋がったと思われる。
- 薬事故について、マニュアル通りに行わないために起こる人為的ミスが目立ったため、職員には周知徹底をした。

(3) 市への事故報告 年間計 16 件（上期：4 件 下期：12 件）

入 居： 10 件（上期：4 件 下期：6 件（薬 3 件、打撲 3 件）

【下 期】

- 他者の内服薬を本人に間違えて内服した。
⇒様子観察となった。
- 薬局から届いた内服薬を翌日からセットしたが、既にセットされていた内服薬と二重に内服したことが判明した。
⇒様子観察となった。
- トイレ介助時、他者から呼ばれたため、一時的にその場から離れた際に転倒され受診となった。
⇒打撲と診断された。
- 入居者が着替え中に、職員が一時的居室から離れ、すぐに戻ると入居者が座り込んでいた。その後、歩行が難しいため受診となった。
⇒異常ないと診断された。
- 翌日の内服薬をセットしていると、昼食後薬が二重にセットされていることに気づいた。また、当日も二重にセットされていることが判明したが、既に内服していた。
⇒様子観察となった。
- リビングから物音が聞こえ、職員が向かうと入居者が転倒しているのを発見し、腰の痛みが続いていることから受診となった。
⇒骨粗しょう症と診断された。

ショートステイ： 2件（上期：0件 下期：2件（骨折1件、死亡1件）

【下期】

○日中、居室に伺うとベッド脇で転倒し、入居者が動けないため救急搬送となった。

⇒右大腿骨頸部骨折との診断を受けた。

○リビングで、食事介助中に呼吸がおかしいことに気づき、心肺蘇生を開始し救急要請をした。

⇒搬送後、病院で死亡と診断された。

デイサービス： 2件（上期：0件 下期：2件（薬1件、打撲1件）

【下期】

○職員が水虫用の薬を利用者に点眼した。その後、自宅に帰り家族から目がかぶれたとの連絡が入り受診した。

○利用者が見つからないため職員が近隣を探し、ホームセンターで見つかった。ホームセンターで転倒し、血を流していたため、近くにいた店員が救急車を呼び搬送となった。

⇒打撲と診断された。

(4) 苦情 年間計 13件（上期：4件 下期：9件）

入 居： 5件（上期：1件 下期：4件）

【下期】

○家族より、「福祉用具業者から請求書が届いた。用具の発注は家族からするようになっていたが、どう言う事なのか。」と連絡を受けた。

⇒家族に、施設と業者間での連絡ミスであることを謝罪した。

○家族より、「確定申告時期に間に合うよう領収書を早く欲しい。」との要望を受けた。

⇒確定申告に間に合うよう発送時期を早めた。

○家族より、「母の服装が数日前の面会と同じことから風呂に入っていないのではないか。」と質問を受けた。

⇒当人の入浴予定日に、他入居者の緊急受診となり、職員が同行したために入浴が中止となった。また、翌日の入浴予定に組み込まれなかったことを伝え謝罪した。

○家族より、「通院先まで定期的に行くのが大変なので配置医に診て欲しいが断られたのはなぜなのか。」と連絡を受けた。

⇒配置医から、病名がつかないものは保険診療できない旨を説明し後日、通院先から情報提供書等を受け取り配置医で診ていくことになった。

ショートステイ： 5件（上期：1件 下期：4件）

【下期】

○利用者より、「入浴後に紙パンツのサイズを間違え、発赤と水疱ができてし

まった。また、処置方法が違っていたことや体重測定の数字が記載されていなかった。」と指摘された。

⇒職員間で情報を統一することを伝え謝罪し、納得された。

○利用者より、「夕食後リビングにいた職員に時間を尋ねたところ、無視された上、そこに書いてあるでしょ！」と、言われ愛想が悪い。

⇒当該職員は、そうした対応はしていないと食い違いがあったため、今後は本人に寄り添う姿勢をとり、丁寧に対応するよう指導した。

○娘婿より、「母本人が、売店で買い物をすると家族から怒られるからの言葉を職員がそのまま妻に伝えた事で、妻がショックで寝込んでしまった。」との連絡を受けた。

⇒家族へ謝罪し、今後は報告時に家族が不快に思わないよう言葉を選ぶよう職員を指導した。

○家族より、「母から夜勤職員の言葉がきつくてイヤだった、と聞いた。」その職員を夜勤から外して欲しいとの話を受けた。

⇒夜勤から外すことは難しいため、職員を指導する旨を伝え謝罪。当該職員は、利用者が帰宅後に動けなくなることを心配して自立を促す支援をしたとの事だった。今後は、本人との信頼関係をするまで望む方法で対応するよう指導した。

デイサービス : 1件(上期:0件 下期:1件)

【下期】

○職員が水虫用の薬を利用者に点眼した事故について、担当の訪問看護師から嚴重注意をうけた。

⇒家族に謝罪し、解決済み。(詳細は、苦情に記載)

居宅支援事業所: 2件(上期:2件 下期:0件) 【下期】なし

(5) 困難ケース会議: 1件(上期:1件 下期:0件)

入 居 【下期】なし

(6) 看取りケアの実施

(昨年度)

	看取り人数	退居人数	看取り割合
4月～9月	6名(7名)	11名(14名)	54.5%(50.0%)
10月～3月	10名(9名)	12名(14名)	93.3%(64.3%)
年 間	16名(16名)	23名(28名)	69.5%(57.3%)

【評価】

退居した理由の約7割が看取りによるものだった。最近では、事前に入居者と家族の意向を確認していることから、看取り期に家族間で意見が割れることなく同意を得ている。

(7) 顧客満足度調査の結果

入 居 : 回収率 46%、満足度 96%、

○ルームエアコンの汚れが気になる

⇒クリーニング業者を手配した。今後は、定期的に行う予定。

○ベッド下に埃があるので気にして欲しい

⇒職員と共有し、注意していくようになった。

○食事の食べこぼしで服が汚れている時がある、すぐに着替えさせて欲しい

⇒服が汚れない様に首にタオルをかける。また、服が汚れたときは速やかに着替えることを再徹底した。

ショートステイ : 回収率 38%、満足度 97%、

○衣類のレンタルサービスをして欲しい

⇒次年度、レンタルサービスを導入予定。

○一度だけ床に埃がいっぱい時を見かけた

⇒会議で共有した。

○宿泊していなくても法人の祭りに参加したい

⇒地域の方はどなたでも参加できることを広報誌等で配信予定。

○利用中に家族の見学や面会が可能なのか知りたい

⇒制限がないことを広報誌等で配信予定。

デイサービス : 回収率 82%、満足度 96%、

○機能訓練指導員の休みが多く、リハビリできない

⇒二人体制で毎回訓練できる体制を作った。

○今の時代にあった活動をお願いしたい

⇒時代の変化に合わせたレクリエーション活動を検討する。

○簡単な手作業（手作り）でリハビリを絡めた活動をしてほしい

⇒今後の検討課題とする。

○家族が見学できる機会を設けて欲しい

⇒その後、2件見学を実施した。

居宅支援事業所 : 回収率 62%、満足度 97%、

○利用カレンダー、サービス計画書はいらないと思う

⇒家族に、サービス計画書等は制度上、交付する義務がある事を伝えた。

5. 実習生等の受け入れ

ア：ユニットリーダー研修実習生受け入れ

	上 期	下 期	年 間
実習生数	22 名	15 名	37 名

イ：福祉専門学校実習生受け入れ

	上 期	下 期	年 間
神奈川社会福祉専門学校	1 名	0 名	1 名
YMCA 厚木校	2 名	2 名	4 名

ウ：介護福祉士実務者研修会（三幸カレッジ）

	開催数	受講者数
8 月～11 月	2 回	32 名

エ：インターンシップを受け入れ

	人 数	採用者
2024 年卒	1 名	1 名

6. 地域との連携強化

ア：戸川西自治会とのイベントや防災の打ち合わせについては行えなかった。

イ：地域ボランティア受け入れについて、なでしこ傾聴会やハンドマッサージの計 3 団体を受け入れた。

7. 各事業の年間計画

	入 居	ショートステイ	デイサービス	居宅支援
定 員 (人)	100	20	35	145
目標稼働率 (%)	99%	80%	80%	72.4%
実績稼働率 (%)	98.7%	74.2%	74.8%	71.0%

(1) 入 居

① 月間契約件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	3	5	3	1	2	0	2	2	0	4	5	0	27

② 退居者（内訳）

	看取り	療養型	入院逝去	その他	合計
人 数	16	3	2	2	23

ア：年間に入院した入居者が 28 名となった。病院から退院の連絡を受けた場合、即座に受け入れを行い、退院後一週間以内の目標を達成した。

イ：6 月から、業務を担当制にしたことで残業の減少に繋がった。また、空いた時間を活用して、入居者との会話や散歩の付き添いが行えた。

ウ：入居一週間後に、家族へ入居者の生活状況を伝えたことで、家族との信頼深まったと感じた。また、家族 LINE の登録が 55 名と増加し、入居者の様子を小まめに報告し、必要な物品も速やかにやりとりできた。

エ：毎日行うミーティングでは、多職種が入居者の情報を共有したことで速やかに受診調整することができた。

(2) ショートステイ（短期入所）

① 月間契約件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	4	5	8	7	7	8	8	6	1	7	6	4	71

② 利用終了者（内訳）

	施設入居	在宅困難	逝去	その他	合計
人 数	36	1	12	11	60

ア：新規の迅速な受け入れや、緊急利用も積極的に受け入れたことで稼働率減少を最小限に抑えた。

イ：ケア記録を紙からパソコンやタブレットに切り換えたことで一元化が図れた。しかし、科学的介護推進体制加算の取得については、長期間で利用する利用者が少ないため断念した。

ウ：アメニティグッズについて、利用者からの要望に応えたためティッシュと歯ブラシの販売を開始した。

エ：体調不良者は居室隔離や利用中止など、迅速な対応をしたことで施設内に感染症を最小限に防ぐことができた。

(3) デイサービス（通所介護）

① 月間契約件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	4	3	2	4	4	5	1	1	2	1	5	2	34

② 利用終了者（内訳）

	施設入居	入院	逝去	その他	合計
人 数	27	1	7	9	44

ア：日報やケース記録を紙から電子媒体に切り替え、体温計や血圧計を通信で連動させたことで業務の効率化が図れた。

イ：日頃気づいた事や感じた事をノートに残し、ミーティング等で情報共有したことで職員同士の連携が図れるようになった。

ウ：新規を断ることなく受け入れ、居宅支援事業所へ小まめに連絡を入れたが、目標を達成できなかった。

エ：インスタグラムを活用し、事業所の取り組みを配信したが、配信数が少なかったため今後の課題としたい。

(4) ケアセンター（居宅支援事業所）

① 月間契約件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	6	6	4	8	7	4	6	5	6	8	8	8	76

② 利用終了者（内訳）

	施設入居	支援	逝去	その他	合計
人 数	27	4	21	7	59

ア：職員を増員し、特定事業所加算Ⅱの取得を再開ができた。

また、24時間連絡体制を取る事で迅速に丁寧な支援ができた。

イ：毎月、医療機関や地域高齢者支援センターに提出している受け入れ人数を増やした事で、利用に繋げることができた。また、急な依頼も積極的に受け入れた。

8、主な投資計画

	実 績	計 画
ヤンマーガスエアコン（厨房） ※1	440 万円	1,100 万円
防災設備	732 万円	732 万円
機械浴槽	403 万円	427 万円
大型乾燥機 1 台	286 万円	286 万円
ベッドマットレス（65 枚）	203 万円	203 万円
床コーティング（デイ・ショート）	98 万円	50 万円
外国人介護福祉士候補者 1 名受け入れ	80 万円	80 万円

※1 令和 6 年度に大規模修繕の予定があり、今年度は価格を抑えるため交換場所を変更した。

9. その他、年間報告

- 令和 4 年度 苑内研修 実施報告 (P 10～11)
- 令和 4 年度 行事食 実施報告 (P 12～13)
- 令和 4 年度 設備・防災等 実施報告 (P 14)
- 令和 4 年度 外部研修等 実施報告 (P 15～16)

令和5年度 施設内研修 実施報告

月	日	研修テーマ	時間	委員会(講師)	参加人数
4	11	施設理念について	15:00～16:00	久保谷施設長	22名
	13				16名
	17				19名
	27				26名
				計	83名
5	22	ユニットケアについて	15:00～16:00	石田課長 (ユニットリーダー研修指導者) 小須田課長 (入居課長)	14名
	23				14名
	31				7名
				計	35名
6	23	感染症について	15:00～16:00	感染予防委員会	21名
	26				25名
	29				15名
				計	61名
7	18	事故防止について	15:00～16:00	事故防止委員会	15名
	26				13名
	31				17名
				計	45名
8	4	身体拘束・虐待について	15:00～16:00	身体拘束・虐待ゼロ委員会	22名
	8				31名
	28				22名
	30				25名
				計	100名
9		認知症について	15:00～16:00		新型コロナウイルス感染症流行に伴い中止
				計	0名

令和5年度 施設内研修 実施報告

月	日	研修テーマ	時間	委員会(講師)	参加人数	
10	17	法人理念・ハラスメント	15:00～16:00	久保谷施設長	27	名
	19				20	名
	24				21	名
	26				20	名
				計	88	名
11	27	感染症について	15:00～16:00	感染予防委員会	10	名
	28				12	名
	30				10	名
				計	32	名
12	19	ユニットケアについて	15:00～16:00	石田課長 小須田課長	14	名
	26				13	名
	28				4	名
				計	31	名
1	22	緊急時対応 & 看取りについて	15:00～16:00	医務(看取り) 小須田課長(緊急時)	18	名
	29				11	名
	31				9	名
				計	38	名
2	14	事故防止について	15:00～16:00	事故防止委員会	14	名
	21				16	名
	28				10	名
				計	40	名
3	14	虐待防止について	15:00～16:00	身体拘束O委員会	21	名
	17				12	名
	22				16	名
	30					名
				計	49	名

令和5年度 行事食報告

実施日	行 事		献立名
4月8日	行事食	昼食	ちらし寿司、なすのなべしぎ、ヨーグルト、具沢山汁
4月21日	誕生日食	昼食	カツカレー、ごぼうサラダ、香の物、フルーツポンチ
		おやつ	レアチーズケーキ
5月11日	行事食	昼食	筍ごはん、白身魚の葱味噌焼き、ごま豆腐、菜の花の蒸し鶏和え、みそ汁
5月22日	誕生日食	昼食	ロコモコ丼、バジルチーズパスタサラダ、フルーツポンチ、コンソメスープ
		おやつ	ブルーベリーケーキ
5月30日	特別食	昼食	天丼、茶碗蒸し、お漬物、いちごケーキ、すまし汁
6月12日	行事食	昼食	海老かき揚げそば、高野豆腐の煮物、あじさいゼリー
6月22日	誕生日食	昼食	ハヤシライス、玉子入りマカロニサラダ、フルーツポンチ
		おやつ	いちごケーキ
7月7日	行事食	昼食	セタそうめん、かき揚げ、水ようかん
7月12日	誕生日食	昼食	寿ちらし寿司、厚揚げの煮物、抹茶ババロア、具沢山汁
		おやつ	チョコレートケーキ
7月21日	特別食	昼食	鰻のひつまぶし、茶碗蒸し、なすの煮物、お漬物、メロン
8月10日	誕生日食	昼食	ピラフ、えびフライ、バジルペネサダ、フルーツポンチ、コンソメスープ
		おやつ	抹茶ケーキ
8月22日	行事食	昼食	夏野菜カレー、コールスローサラダ、オレンジ、香の物
9月8日	特別食	昼食	栗ご飯、サンマの塩焼き、なすの八丁みそ、茶碗蒸し、梨&キウイ、すまし汁
9月18日	行事食	昼食	生姜ご飯、季節の天ぷら、豆腐田楽、柿、すまし汁
9月26日	誕生日食	昼食	ハンバーグデミソース&ナポリタン、彩りサラダ、フルーツカクテル、ごはん、コンソメスープ
		おやつ	チーズケーキ

令和5年度 行事食報告

実施日	行 事		献立名
10月9日	行事食	昼食	鮭ちらし・いなり寿司、筑前煮風、ヨーグルト、具沢山汁
10月31日	誕生日食	昼食	えびピラフ、クリーム煮、かぼちゃサラダ、かぼちゃパバロア、コンソメスープ
		おやつ	レアチーズケーキ
11月6日	行事食	昼食	きのこ炊き込みご飯、鮭の塩焼き、茄子含め煮、キャベツごま和え、みそ汁
11月13日	誕生日食	昼食	ロールパン、グラタン、ラタトゥイユ風、2色ゼリー、コンソメスープ
		おやつ	マロンケーキ
11月29日	特別食	昼食	握り寿司、柿、すまし汁
12月15日	誕生日食	昼食	チャーハン、えびのチリソース、ブロッコリーのザーサイ和え、中華スープ
		おやつ	いちごケーキ
12月25日	行事食	昼食	ロールパン、ミートローフ、星コロケ、フルーツヨーグルト、コンソメスープ
12月31日	行事食	昼食	年越しそば、海老の天ぷら、フルーツカクテル
1月1日	行事食	昼食	赤飯、おせち、根菜煮物、紅白なます、すまし汁
1月7日	行事食	昼食	七草粥、豆腐ステーキ、筍と鶏のおかか煮、フルーツポンチ、中華スープ
1月19日	誕生日食	昼食	醤油ラーメン、点心盛、杏仁フルーツ
		おやつ	抹茶ケーキ
1月25日	特別食	昼食	鯛めし、豚挽き肉の和風玉子とじ、しば漬け、いちごケーキ、鯛のあら汁
2月3日	行事食	昼食	ねぎとろ丼、大豆とわかめの煮物、ほうれん草のさっぱり和え、みそ汁
2月14日	誕生日食	昼食	バター風ライス、ビーフシチュー、花野菜サラダ、フルーツカクテル
		おやつ	チョコケーキ
3月3日	行事食	昼食	菜の花ちらし、大根のみそ煮、バナナ、すまし汁
3月8日	行事食	おやつ	ひな祭りパバロア
3月22日	誕生日食	昼食	バターライス、ミートローフ、海藻サラダ、フルーツポンチ、コンソメスープ
		おやつ	ブルーベリーケーキ
3月28日	特別食	昼食	刺身盛り合わせ、筑前煮、茶碗蒸し、お漬物、ごはん、すまし汁

令和5年度 施設整備及び公用車関係報告書

4月	デイ一般浴槽の横引き配管・薬注ポンプ等交換工事, 厨房内自動手洗い機の電池交換 冬タイヤの交換, セレナ2車検, ステップワゴン2・セレナ点検
5月	消防設備点検 イスト点検・修理, タント2修理, 消防設備点検
6月	自動火災報知機設備「防災監視盤」交換工事, 2・4F居室ベッドのマットレス交換 公用車給油場所の変更, パッソ車検
7月	グリストラップ清掃, 防災監視盤及び副受信機交換後の消防検査 キャラバン2・キャラバン3・ハイエース点検, キャラバン2のエアコン修理
8月	1F男子トイレ小便器詰まり修理, 受水槽清掃 キャラバン1・ラクティス・タント(紺)車検
9月	デイ一般浴槽レジオネラ属菌検査, 簡易専用水道検査, 自家発電機負荷運転試験点検 防災訓練事前説明・防災監視盤説明 タント2点検, ラクティス修理
10月	2Fさざんか219号室・かえで226号室・4F富士429号室エアコン交換工事 セレナ車検, セレナ2点検, ステップワゴン2点検及び修理
11月	グリストラップ清掃, ボイラーのタイマー交換修理, ボイラーのバーナー部圧カスイッチ交換修理 厨房系統の冷暖房の機械交換, 3F大浴室扉のキャスター交換 ミライース車検, キャラバン2修理
12月	3Fなのはな326号室エアコン修理, 2F花みずき234・233号室エアコン交換工事 冬タイヤに交換(ミスタータイヤマン5台・ジャストオートリーシング4台), キャラバンミラー破損で交換
1月	4F箱根個浴定量止水ユニット交換工事, デイ一般浴壁付シャワー部分の交換修理 ハイエース車検, キャラバン1点検, キャラバン2のリフター駆動用電源配線交換修理
2月	ボイラー2台定期点検, 4F439・440号室エアコン交換工事, 受水槽の漏水修理 2Fかえで221・224・228・229号室・2F花みずき234号室換気扇の交換工事 キャラバン1・2・3点検, キャラバン2のラジエーター交換修理, ワゴンR廃車
3月	3Fやまゆり313・315号室エアコン交換工事, 4F箱根413・418号室換気扇交換工事, 3Fなのはな328号室エアコン修理, グリストラップ清掃, デイ一般浴槽水のレジオネラ属菌検査 機械室給湯循環ポンプの交換工事

令和5年度 研修等 一覧表

日時	名 称	場 所	参 加 者
4/12	秦野市介護支援専門員協会 Aブロック会	秦野市文化会館	村本・後藤田・藤井
4/25	2023年度ユニットケア研修等事業者連絡会	八重洲「K+L+Mルーム」	施設長・石田
4/28	高齢協秦野・伊勢原地区実行委員会	はだの松寿苑	伊丹
5/18	秦野市介護支援専門員協会 Aブロック会	秦野市文化会館	村本・後藤田・藤井・小次
5/25	令和5年度第1回ケアプラン指導研修	ZOOM	藤井・小次
5/25	外国人介護人材受入説明会	ウィリング横浜	施設長
5/27	個室ユニット型施設のこれからを考える車座対話	TKP横浜ビル	施設長
5/31	神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ及び更新研修	藤沢市民会館	後藤田
6/1	主任ケアマネ部会	秦野市保健福祉センター	藤井
6/6・13	神奈川県介護支援専門員専門研修課程Ⅱ及び更新研修	藤沢市民会館	後藤田
6/10・24	介護福祉士実習指導者講習会	神奈川県社会福祉専門学校	百瀬・阿部寛子
6/14	全国個室ユニット型推進協議会2023年第1回理事会	赤坂インタージェンツホテル	施設長
6/14	秦野市介護支援専門員協会 Aブロック会	秦野市文化会館	村本・後藤田・藤井・小次
6/15	医療・介護業界 人材セミナー	ZOOM	施設長
6/22	令和5年度 県社会福祉法人経営青年会合同研修会	崎陽軒本店	施設長
6/23	介護保険改正の動向②	藤沢市民会館	藤井
6/26	神奈川県高齢者福祉施設協議会 令和5年度第1回理事会	ホテルメルパルク横浜	施設長
6/30	高齢協秦野・伊勢原地区実行委員会	はだの松寿苑	伊丹
7/4・22	介護福祉士実習指導者講習会	神奈川県社会福祉専門学校	百瀬・阿部寛子
7/11・12	2023年度ユニットリーダー研修指導者養成研修	東京YMCA会館	小須田
7/12	秦野市介護支援専門員協会 Aブロック会	秦野市文化会館	村本・藤井・小次
7/13	浜銀秦野懇話会 講演会	秦野商工会議所	施設長
7/20	令和5年度特定給食施設等講習会 よく分かるしおの話	ZOOM	大友
7/31	令和5年度第2回ケアプラン指導研修	クアーズテック秦野	後藤田・小次
8/1～4	ユニットリーダー研修	かわいの家	菅原
8/3	主任ケアマネ部会	秦野市保健福祉センター	村本・藤井
8/3	高齢協秦野・伊勢原地区実行委員会	はだの松寿苑	伊丹
8/5	介護福祉士実習指導者講習会	神奈川県社会福祉専門学校	百瀬・阿部寛子
8/22・29	グループホームでの生活支援を長く続けるために	秦野市本町公民館	藤井
8/23	秦野市通所サービス意見交流会	ZOOM	池田
8/30	食品衛生責任者講習会	クアーズテック秦野	堀井
8/31・9/1	2023年度ユニットリーダー研修指導者養成研修	ZOOM	小須田
9/5～9/8	ユニットリーダー実地研修	高秀苑	阿部寛子
9/7	主任ケアマネ部会・ケアマネ協会事業部会	秦野市保健福祉センター	藤井
9/12・14・28	介護技術講習会	YMCA厚木	サンティ・ロベス
9/13	秦野市介護支援専門員協会 9月Aブロック会	秦野市文化会館	後藤田・藤井
9/15	秦野市介護保険事業者連絡協議会	ZOOM	施設長
9/19	パーキンソン病の基礎知識と難病ケアマネジメント	ZOOM	後藤田・小次
9/28・29	ユニットリーダー研修	国際ファッションセンター	小玉

令和5年度 研修等 一覧表

日時	名称	場所	参加者
10/5	秦野市介護支援専門員協会 管理者会議	秦野市保健福祉センター	村本
10/12	秦野市介護支援専門員協会 10月Aブロック会	秦野市文化会館	村本・後藤田・藤井
10/17	令和5年度 防災研修	秦野市保健福祉センター	村本・後藤田
11/7・8・14・15	認知症介護実践者研修	ZOOM	菅原
11/8	特別養護老人ホームの生き残り戦略	コンパツク税理士法人青葉事務所	施設長
11/9	2023年度 第2回ユニットケア研修等事業関係者連絡会	ホテルマイステイズ新大阪	施設長・小須田
11/14	YMCA健康福祉専門学校 2023年度 介護実習Ⅰ報告会	YMCA健康福祉専門学校	池田
11/22	秦野市介護支援専門員協会 11月Aブロック会	秦野市文化会館	伊丹・村本・後藤田・藤井
11/27	Googleマップ から集客を生む	秦野商工会議所	施設長
11/28	介護職のためのユニットケア研修	ZOOM	亀井・遠藤
11/29	食に携わる職員のためのユニットケア研修	ZOOM	堀井
11/30	医療福祉経営セミナー	ZOOM	施設長
12/1	令和5年度後期 合同就職説明会	西部総合職業技術校	施設長・阿部
12/4	県高齢者福祉施設協議会 第1回災害対策委員会	ZOOM	施設長
12/12	令和5年度主任ケアマネ部会研修	秦野市保健福祉センター	伊丹・村本・後藤田・藤井
12/12・13・19・20・1/29	令和5年度第5回 神奈川県認知症介護実践者研修	横浜市中区産業振興センター	武田
12/13	秦野市介護支援専門員協会 12月Aブロック会	秦野市文化会館	伊丹・後藤田・藤井
12/13	秦野市通所サービス意見交流会	ZOOM	石井・池田
12/14	全国個室ユニット型施設推進協議会2度第3回理事会	ZOOM	理事長
12/19	県高齢者福祉施設協議会 令和5年度第3回理事会	ホテルメルパルク横浜	施設長
12/19	県社会福祉協議会 令和5年度災害対応に関する部会	神奈川県社会福祉センター	施設長
12/20	神奈川社会福祉専門学校「介護福祉実習報告会」	平塚商工会議所	中里
12/22	YMCA健康福祉専門学校「卒業報告会」	YMCA健康福祉専門学校	鈴木貴之
12/28	神奈川県社会福祉法人経営青年会 第9回研修委員会	横浜市区 戸栗ビル	施設長
1/9・11・18・19・2/20	令和5年度第5回 神奈川県認知症介護実践者研修	横浜市中区産業振興センター	阿部
1/25	商工会議所「日本と世界2024年の政治・経済の展望」	秦野商工会議所	理事長・施設長・栗原
1/25	質の向上プロジェクト	秦野市役所	伊丹
1/29	秦野市介護支援専門員協会 1月Aブロック会	秦野市保健福祉センター	伊丹・村本・後藤田・藤井
2/2	市介護支援専門員協会 「社会問題に関する研修」	本町公民館	藤井
2/6	神奈川県社会福祉法人経営青年会 第11回研修委員会	神奈川県社会福祉協議会	施設長
2/12	第11回県央地区嚥下まつり「摂食嚥下障害のA・R・E」	アミューあつぎ	堀井
2/15	神奈川県社会福祉法人経営青年会 総会及び研修会	エキニア横浜	施設長
2/15	秦野市介護支援専門員協会 2月Aブロック会	秦野市文化会館	伊丹・村本・藤井
2/19	日本ユニットケア推進センター 関東ブロックユニットケア連絡会	ライトキューブ宇都宮	施設長・小須田
2/21	24年度介護報酬改定で変わる加算の算定要件解説	ZOOM	施設長
2/22	神奈川県社会福祉専門学校 実習指導者懇談会	神奈川県社会福祉専門学校	中里・菅原
2/27	かなテクカレッジ西部公開授業	西部総合職業技術校	施設長・石田
2/29	質の向上プロジェクト	ホームケアcoco	後藤田
2/29～3/1	県高齢者福祉施設協議会の義援金手工及び受入施設の視察	石川県老施協	施設長
3/4	ユニットリーダー研修指導者養成研修	東京YMCA会館	小須田
3/5	神奈川高齢者福祉施設協議会 第2回理事会・管理者研修会	ロイヤルホールヨコハマ	施設長
3/7	全国ユニット型施設推進協議会 第4回理事会	ZOOM	理事長
3/7	主任ケアマネジャー部会	秦野市保健福祉センター	村本・藤井
3/8	介護事業経営マネジメントセミナー	ZOOM	施設長
3/13	介護未来フォーラム	ZOOM	小須田・鈴木・須藤
3/13	秦野市介護支援専門員協会 3月Aブロック会	秦野市文化会館	後藤田・藤井
3/14	「令和6年度介護報酬改定のポイントについて」	神奈川県社会福祉センター	施設長
3/14	度介護報酬改定から読み解く生き残るサービスの条件	ZOOM	露木
3/18	第3回合同就職面接会	横浜市技能文化会館	施設長・高橋
3/21	ADL維持等加算 法改定後の変更点と算定方法の解説	ZOOM	露木
3/29	災害時における高齢者の支援体制の構築を目的	秦野市役所本庁舎	施設長・山本

令和 5 年度

事業報告書

【指定障害者支援施設 松下園】

- ① 施設入所支援
- ② 生活介護(昼間)
- ③ 短期入所

【指定障害福祉サービス事業 松下園】

- ④ 就労継続支援 B 型
- ⑤ 共同生活援助

【地域生活支援事業 松下園】

- ⑥ 日中一時支援

【相談支援事業 松下園】

- ⑦ 特定相談支援

【就労支援施設 ハッピーラボ】

- ① 生活介護
- ② 就労継続支援 B 型

令和 6 年 6 月 18 日

社会福祉法人寿徳会

令和 5 年度 松下園 事業報告

令和 5 年度は新型コロナが 5 類に移行され、外出制限もなくなったことで少しずつ元の生活に戻せるよう、日課の見直しや行事の再開等を検討してきました。松下園の全体行事としてはコース別の日帰り旅行や地域の方々をお招きしての収穫祭を実施することができました。

またコロナ後に入職した職員には以前の生活を取り戻していくことの意義を改めて教育し、実感できる機会を増やせるよう日々の生活の中にも外出等の楽しみを多く提供してきました。

3 月には入所利用者 20 名がコロナに感染し、収束までに 3 週間ほどかかりましたが、重症化することなく施設内の静養で回復されました。

施設整備については別館の個室化に向けた改修工事を実施しました。次年度には本館の個室化改修工事を計画しており、障害特性に合わせて一人一人が自分らしい生活を送れるよう施設整備を進めていきます。

1. 事業体制 平成 30 年 10 月 1 日～

【入所部門】

指定障害者支援施設 40 名 ※施設入所支援・生活介護

短期入所 4 名（併設型）

※（神奈川県知事指定 第 1412800102 号）

【通所部門】

就労継続支援 B 型 20 名

日中一時支援 5 名（市町村事業）

※（神奈川県知事指定 第 1412800110 号）

【居宅部門】

共同生活援助 21 名

※（神奈川県知事指定 第 1422800324 号）

【相談部門】

特定相談支援事業（計画相談）

※（指定 第 1432800918）

令和 6 年 3 月 31 日現在利用状況

サービスの種類	定 員	現 員	備 考
施設入所支援	40 名	35 名	
生活介護	40 名	48 名	
短期入所（併設型）	4 名	—	注 1
就労継続支援 B 型	20 名	28 名	内施設外就労 8 名
日中一時支援	5 名	—	
共同生活援助	21 名	21 名	

注 1：短期入所は、通所利用者及び地域の方を随時受け入れている。

令和 6 年 3 月 31 日現在障害支援区分分布表

夜間の部

区分	施設入所支援	共同生活援助	短期入所
区分6	6		
区分5	22	1	
区分4	6	11	
区分3	1	5	
区分2		4	
区分1			
なし			
合計	35	21	0
平均	4.9	3.4	0

日中の部

区分	生活介護	就労継続支援B型	日中一時支援
区分6	6		
区分5	24	1	
区分4	16	7	
区分3	2	9	
区分2		6	
区分1			
なし		5	
合計	48	28	0
平均	4.7	2.6	0

事業別平均年齢

	R6 年 3 月 31 日現在
入所	58 歳
通所	37 歳
ホーム	43 歳

2. 事業報告

【指定障害者支援施設 松下園】

①施設入所支援／②生活介護

<生活面>

- ・館内及び居室の清掃を定期的実施することにより、清潔に保ち快適な居住空間を提供出来た。
- ・預かり金の管理は、複数のチェック体制により適切な対応を取っている。
- ・寝具類のリース契約により、衛生面で適切な対応を取っている。
- ・入浴は週6回を基本に、高齢者に関しては、皮膚疾患などのリスクを減らすため、関係機関等と相談の上、週3回の入浴としている。
- ・半期に1度利用者会議を実施し、利用者同士の交流と意見の吸い取りを実施している。
- ・身だしなみを支援する担当を設け対応にあたっている。
- ・昼食後にデイルーム利用者に対して歯磨き支援を実施している。
- ・デイルームにて高齢者や障害特性に応じたプログラムやレクリエーション活動を実施している。
- ・年に2回の外食会は新型コロナウイルスの影響から中止としたが、店屋物を企画し実施している。
- ・年に2回居酒屋を実施。しかし、そのうちの一度は新型コロナウイルスの罹患者が出たため、外部より弁当の注文を実施している。

<医務面>

- ・8月に健康診断実施。40歳以上の方には腫瘍マーカーを選択制で実施している。
- ・日常の通院業務に追われている状況である。生活支援員と連携を取り補いながら業務をこなしている。
- ・日頃の様子観察から嘱託医・産業医に相談し、病状の早期発見と対応に努めている。
- ・毎月の体重測定を実施。体重の増減チェックに力を注ぎ成人病等の早期発見に繋げている。
- ・薬のセットや服薬を含め、取扱には注意を払い、向精神薬は施錠し保管している。
- ・看護師2名体制としている。(1名は共同生活援助とハッピーラボ兼務)
- ・体調悪化による入院が増えている。
- ・入所利用者は朝食・夕食前に検温実施。通所利用者・職員には出勤前自宅にて検温を依頼。又、マイクロバス乗車時に関しても検温を実施。発熱者の早期発見や体調不良時の出勤予防に繋げている。
- ・例年であればインフルエンザ・花粉症の時期のみマスクを着用していたが、新型コロナウイルスの感染予防の為、1年を通しマスク着用としている。

<食事面>

- ・富士産業株式会社に調理業務を委託している。
- ・各食事前に栄養士または支援員にて検食を実施している。
- ・施設の栄養士と、委託業者の栄養士とで連携を深めバランスの取れた食事の献立を作成している。
- ・スペシャルランチなど、食事に関するイベントを定期的に行っている。
- ・障害の程度や本人の状態に応じて、刻み食・トロミ食・補助食品を提供している。
- ・病気に罹った際は、個別に食事を変更し提供している。
- ・感染症のリスクがある病気に関しては個室に隔離し、使い捨て容器で対応している。
- ・厨房職員用玄関に体温測定器を設置し、厨房職員・食品業者の体温管理を行っている。

<生産活動>

利用者のニーズや状態に応じて、日中の作業に参加している。1日6時間の作業時間を上限とし、時間数などは個別に対応している。

『工賃支払い実績』《生活介護》

	工 賃	対象者数
4 月	617,000	43
5 月	606,928	43
6 月	598,518	42
7 月	594,455	42
8 月	582,557	42
9 月	572,889	42
10 月	556,202	42
11 月	562,774	42
12 月	539,226	43
1 月	525,588	43
2 月	535,055	43
3 月	533,177	42
合計	6,824,369	509
平均	13,407	—

※生産活動に参加されない方も人数に含む

③短期入所 ※併設型

ご家庭の都合での一時受け入れの他、入所を考慮した利用があった。

④就労継続支援 B 型

<就労支援>

利用者の個々の能力と適応性等を考慮しながらマッチングをし、状況に応じて一般企業に対し協力を求め、積極的に就労につながる継続的な支援を行っている。

実習

スタンレーウェル	1 名
----------	-----

就労

なし	0 名
----	-----

<生産活動>

・ 下請け作業

主にベルトコンベアを活用したライン作業を中心に出荷前の仕上げや梱包作業を行いながら、学習教材封入梱包作業を新たに受注するなど新規開拓にも注力した。また、ボールペンの組み立て作業やアルミ缶の回収等リサイクル事業も継続している。

主要取引先

インターナショナル・トイレツリース株式会社
株式会社 Duze
エーピーコスメティックス株式会社
中谷商工株式会社
スタンレーウェル株式会社
株式会社兼子
国際興業株式会社
みつわ印刷株式会社

・ 農耕作業

ビニールハウスなどを活用し、季節に応じた豊富な野菜を生産している。主に松下園の門前やともしびショップにて販売している。

主要取引先

ともしびショップゆめ散歩
はだの松寿苑

・ 施設外授産事業（クリーニング作業）

はだの松寿苑を利用される方の衣類やタオル類の洗濯を行っている。休業日は毎週日曜と元旦のみとなっており、利用者はローテーションで業務にあたっている。

取引先

はだの松寿苑

・ 施設外授産事業（清掃作業）

はだの松寿苑内共有スペースの清掃を行っている。開設当時と変わらぬ状態を保つ為、細部にわたり丁寧に仕上げるよう心掛けている。

取引先

はだの松寿苑

・ 施設外授産事業（鶏卵作業）

伊勢原にある鶏卵場にて卵の選別と出荷前梱包作業を行っている。休業日はなく、365日ローテーションで業務にあたっている。

取引先

寿雀株式会社

・ 施設外授産事業（自動車部品加工作業）

スタンレー電気株式会社の子会社にて不定期ではあるが、数名自動車部品の加工作業を行っている。

取引先

スタンレーウェル株式会社

『工賃支払い実績』《就労継続支援B型》

	工 賃	対象者数
4 月	1,074,325	28
5 月	1,087,324	28
6 月	1,052,160	28
7 月	1,060,415	28
8 月	1,111,158	29
9 月	1,052,173	29
10 月	1,065,317	29
11 月	1,075,667	29
12 月	1,077,492	28
1 月	1,055,925	28
2 月	1,056,519	28
3 月	1,034,107	28
合計	12,802,582	340
平均	47,842	—

※平均工賃の新算定式

年間工賃支払総額 ÷ (年間延べ利用者数 ÷ 年間開所日数) ÷ 12 月

⑤共同生活援助

- ・ホーム清掃日に職員を配置し、清掃指導を行う(隔月 1 回)
- ・平日は毎日ホーム巡回実施。

桜ホーム	定員：5 名 ※管理当直
なつめホーム	定員：5 名
第一あおぞらホーム	定員：5 名 ※管理当直
第二あおぞらホーム	定員：6 名

⑥特定相談支援事業

- ・計画相談作成実績

	計画	モニタリング
4 月	10 件	9 件
5 月	3 件	8 件
6 月	5 件	6 件
7 月	3 件	10 件
8 月	3 件	6 件
9 月	5 件	23 件
10 月	5 件	12 件
11 月	4 件	10 件
12 月	3 件	6 件
1 月	1 件	13 件
2 月	1 件	10 件
3 月	1 件	20 件
合計	44 件	177 件

⑦日中一時支援

市町村事業として、障害者等の日中における活動の場を確保し、障害者等の家族の就労支援及び障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の観点から定員 5 名（秦野市）を確保しているが、利用者はいなかった。

3. 委員会活動

【日中活動委員会】

- ・生活介護を利用されている方を中心に、YouTube 体操や散歩、ドライブ、レクリエーション等を行っている。
- ・現在はデイルームに全員入ると密の状態になってしまうため、隔日の参加となっている。
- ・今まで機能訓練指導員に毎週水曜日に来園いただき、リハビリプログラムの作成や、運動機

- 能の維持・向上を図っていたが、現在新型コロナウイルス蔓延防止のため休止中。
- ・デイ利用者は 15:00 より入浴サービスを始めている。

《通常プログラム以外のイベントを下記の通りに実施》

4 月	・フルーチェ作り
5 月	・フラワーパーク・道の駅へ外出
6 月	・カラオケボックスへ外出
7 月	・ピオトピアへ外出
8 月	・縁日のイベント・かき氷
9 月	・マックカフェへ外出
10 月	・イオンへ外出
11 月	・イオンへ外出
12 月	・カラオケ大会
1 月	・福笑い・かるた・お汁粉のイベント

2 月 3 月は新型コロナウイルスのクラスター発生のため未実施

【安全衛生管理委員会】

駅前神経内科の稲田医師を産業医とし、衛生管理者・看護師・栄養士を中心に毎月委員会を実施している。産業医と職員の面接を各回 1 名行っている。月別のテーマは以下の通りである。

※会議毎に資料を作成し、読み合わせや確認等を行う。

4 月：職員 2 名面談実施
5 月：新型コロナウイルス感染症が 5 類へ ～今知るべきこととやるべきこと～
6 月：新型コロナワクチン接種後、職員 1 名面談実施
7 月：熱中症対策について
8 月：職員の働きやすさに繋げる『価値ある雑談』とは
9 月：ストレスチェックの結果を確認
10 月：職員健康診断結果確認 面談 2 名実施
11 月：BCP（感染症編）について
12 月：BCP（感染症編）についての机上シミュレーション
1 月：2 人に 1 人ががんになる時代 がん検診について
2 月：職員 1 名面談実施
3 月：BCP 感染症対策検討会議実施

【災害・防災対策委員会】

防災対策、ヒヤリハット対応（災害予防処置）、避難訓練を実施。戸川西自治会の夜回りへの参加。非常食や防災用品の管理。防災用品の購入や発電機のメンテナンス等、設備の確認を実施。

※新型コロナウイルスの関係から寿徳会・戸川西自治会との合同防災会議は未開催。

《通常会議に加え以下の事項を実施》

4月：	・火元責任者名札ラベル張替え ・今年度避難訓練担当表作成 ・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・災害防災委員会実施 ・公用車タイヤ交換（冬⇒夏） ・非常用滑り台砂場掘り起こし ・防災用ヘルメット確認 ・昼間避難訓練実施
5月：	・夜間避難訓練実施 ・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・本館・別館居室常備灯確認 ・非常用滑り台砂場掘り起こし ・災害防災委員会実施 ・消防立ち入りに伴う是正対応（別館階段・消火器表示） ・防災備品メンテナンス、確認実施（炊き出し機、テント） ・秦野市障害福祉課備品確認立ち合い
6月：	・屋上排水溝清掃実施 ・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・災害防災委員会実施 ・非常用滑り台砂場掘り起こし
7月：	・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・非常用滑り台砂場掘り起こし ・昼間避難訓練実施 ・秦野市災害用保存水受け入れ ・防災倉庫整備 ・戸川西自治会夜回り参加
8月：	・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・災害防災委員会実施 ・非常食入れ替え対応
9月：	・スプリンクラーの圧の確認を実施 ・台風接近に伴う台風対策を実施 ・防災備品メンテナンス、確認実施（炊き出し機、テント）

10月：	・非常口滑り台の砂場掘り起こし ・総合防災訓練実施（防災備品説明、起震車体験） ・災害防災委員会実施 ・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施 ・防災表示整備（電球交換）
11月：	・非常口滑り台の砂場掘り起こし ・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施 ・粗大ごみ処理
12月：	・自治会の夜回りに参加 ・非常口滑り台の砂場掘り起こし ・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施 ・公用車タイヤ交換（夏⇒冬） ・年末構内見回り
1月：	・非常口滑り台の砂場掘り起こし ・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施 ・火元責任者ラベル更新 ・法人研修（不審者対応） ・自治会の夜回りに参加
2月：	・非常口滑り台の砂場掘り起こし ・保存水の消費期限に伴い一部入れ替えを実施 ・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施
3月：	・スプリンクラーの圧力確認、調整を実施 ・防災用ヘルメット更新

【虐待防止委員会】

昨年度より虐待防止及び身体拘束等の適正化にかかる取り組みが義務化となった為、改めて「虐待防止マニュアル」を見直し、改正した。又、職場環境の改善とサービスや支援の質の向上を目的に、職員を対象にした「自己評価アンケート」、利用者・家族を対象にした「顧客満足度調査」を実施。更に障害者虐待防止用 DVD を用いて検討課題の確認を行った。園内に設置してある意見箱に関して、意見を出しやすくする為に利用者への説明と環境整備を実施。第三者委員には7月に委員会への参加、9月、1月には利用者への聞き取りを行って頂き、3月に1年間の活動総括を行って頂いた。又、2月には外部講師を招き、権利擁護・身体拘束についての全体研修を行った。

※虐待防止マニュアル・虐待発生時対応マニュアルに沿って委員会活動を行っている。

《通常会議に加え以下の事項を実施》

4月：	意見箱の確認及び報告検討 第三者委員来園日程の調整
-----	------------------------------

今年度の活動内容の取り決め
5月：意見箱の確認及び報告検討 障害者虐待防止用 DVD を用いた検討課題の確認
6月：意見箱の確認及び報告検討 自己評価アンケート実施 障害者虐待防止用 DVD を用いた検討課題の確認
7月：意見箱の確認及び報告検討 自己評価アンケート回収 隠語についての検討。 ※第三者委員小山田氏が来園し、助言を頂く。
8月：意見箱の確認及び報告検討 虐待防止マニュアルの見直し 自己評価アンケート検討 顧客満足度調査実施・回収 第三者委員による利用者(松下園)への聞き取りの利用者候補の決定 虐待防止及び身体拘束等の全体研修の打ち合わせ 障害者虐待防止用 DVD を用いた検討課題の確認
9月：意見箱の確認及び報告検討 第三者委員小山田氏による利用者(松下園)への聞き取りを実施 顧客満足度調査検討
10月：意見箱の確認及び報告検討 自己評価アンケート結果を職員に配布 顧客満足度調査結果を職員に配布 隠語使用に関してのついでの話合い
11月：意見箱の確認及び報告検討 全体研修に関しての話合い 利用者対応についての話合い ※第三者委員小山田氏参加予定であったが体調不良の為、来園されず
12月：意見箱の確認及び報告検討 全体研修に関して、タイムテーブルの決定 他施設の不適切支援防止の取り組みを参考にし、話し合いを実施
1月：意見箱の確認及び報告検討 顧客満足度調査結果を家族に配布 第三者委員小山田氏による利用者(ハッピーラボ)への聞き取りを実施 全体研修の最終打合せ
2月：意見箱の確認及び報告検討 外部講師を招いた全体研修実施 (2/22 13:30～16:00)

利用者対応についての話し合い
3月：意見箱の確認及び報告検討 次年度の検討事案の話し合い 第三者委員小山田氏参加（1年間の活動総括） 利用者対応についての話し合い

【グループホーム委員会】

余暇活動支援及び住空間に関する事項や世話人との連携を含めた検討を行なった。

※ホーム清掃日に職員を配置し、清掃指導を実施(隔月1回)

※常時、営繕修繕事項の対応を行っている。

《通常会議に加え以下の事項を実施》

4月：個別支援計画変更に伴う世話人への周知 ホーム利用者会議実施(松下園にて) 世話人ホームミーティング実施(1回目)
5月：ホーム備品管理見直し及び改善実施
6月：あおぞらホーム、桜・なつめホーム 消防点検実施(1回目)
7月：世話人ホームミーティング実施(2回目) あおぞらホーム食堂外部ステップ修繕工事実施 緊急世話人ホームミーティング実施 (※新型コロナウイルス感染症関連)
8月：あおぞらホーム1階・2階生活環境整備実施 あおぞらホーム給湯器具交換工事実施
9月：世話人ストレスチェック実施 ガイドヘルパー企画(たばこ祭り)※松下園・ホーム合同企画
10月：全ホーム夜間避難訓練実施(1回目) ホーム利用者会議実施(松下園にて実施) 世話人ホームミーティング実施(3回目) 世話人業務確認表作成完了・全ホーム配布
11月：あおぞらホーム2階廊下の煙感知器交換 ガイドヘルパー企画(市民の日)※松下園・ホーム合同企画
12月：あおぞらホーム、桜・なつめホーム 消防点検実施(2回目) そば・うどん給食会実施
1月：世話人ホームミーティング(4回目) 世話人研修(「食中毒及び衛生管理」)・意識アンケート実施
2月：※新型コロナウイルス感染症発生の為、感染者対応実施
3月：桜・なつめホーム夜間避難訓練実施(2回目)

4. 年間行事实施状況

- ・スペシャルランチ：4、6、8、10、12、2月に実施（入所・通所）
- ・居酒屋さん：9、3月に実施。（3月はコロナ禍により、お楽しみ弁当とし実施（入所）
- ・日帰り旅行：7月5日(水)、12日(水)横浜方面、9月20日(水)箱根方面（入所、通所）
- ・チャリティゴルフ：9月7日(木)※6月は新型コロナウイルスの影響により、中止。
- ・作業場見学会・給食試食、意見交換会：9月18日（月）（入所、通所）
- ・寿徳会フェスティバル：10月28日(土)に実施（入所、通所）
- ・収穫祭：11月23日(木)に実施（入所、通所）
- ・そば・うどん給食：12月4日（月）に実施（入所、通所）
- ・クリスマス会：12月16日（土）に実施（※職員・入所、通所利用者のみで実施）

5. ガイドヘルパー実施状況

- ・たばこ祭り：9月24日(日)に実施（入所、通所）
- ・市民の日：11月3日(金)に実施（入所、通所）

6. 家族との連携

家族会の事業計画に沿って定例会、役員会へ参加した。また寿徳会フェスティバルや秋の収穫祭では家族会よりボランティアのご協力をいただいた。

個人面談については今年度より対面での面談を再開し、可能な限りご家族に来園いただき情報の共有を図った。

7. 事故報告

神奈川県に報告書として提出した事故に関して報告する。

5月12日	ハッピーラボで作業を行っている松下園通所女性利用者が餃子製造作業中に餃子包機の部品（約1kg）を外した際に誤って床に落としてしまい、右足親指の上に落下した。念のため受診する。骨折等はなく、軟膏の処方を受ける。現在は完治している。
5月30日	松下園入所男性利用者がてんかん発作で床に仰向けで倒れており、後頭部を打ったとの訴えがあった。念の為通院。入院の必要はないため処置後に帰園する。薬の処方も特になかった。現在は完治している。
10月27日	松下園入所男性利用者がトイレから出て来た際、突然利用者Oさんに突き飛ばされ、転倒したとの事。その後本人の状態を確認すると、左手の甲辺りから肘辺りまで出血を伴う擦過傷が見られた。状況がハッキリしないため防犯カメラの映像を見ると、利用者Oさんが本人を投げ飛ばす様子が記録されていた。又、特に頭部をぶつけた様子は無かった。本人からも怪我をした腕以外での訴

	えは無かったが、21:00 と翌朝起床時にフルバイタルチェックを実施。数値にも特に異常は見られなかった。念のため受診する。CT 検査実施。脳内出血・骨にも異常なし。患部は擦過傷で消毒・軟膏塗布。現在は完治している。
1 月 17 日	松下園入所男性利用者が本館 2 階トイレ内で倒れているのを発見する。職員の問いかけに反応が無かったため救急要請を行う。他利用者に突き飛ばされたとの話があり、救急隊より警察へ連絡を入れると話があり、その後警察官が来園され目撃者や関係者へ聞き取りを行った。 事故の状況を近くで見ていた利用者さんより、利用者 O さんより突き飛ばされ倒れたとの事。その後意識を取り戻した本人からも同様の話しが聞かれる。しかしなぜ突き飛ばされたかについては不明。 整形外科にて診察を受ける。頭部には問題無し。右鎖骨に骨折が確認される。 ※10/27 と 1/17 の突き飛ばした利用者は同様の方。 精神科医師の助言、ケース会議、家族との話し合いを経て、2/29 付けで退所。

令和5年度 ハッピーラボ 事業報告

8. 事業体制 平成28年10月1日～

【通所部門】

生活介護 10名

就労継続支援B型 10名

※（神奈川県知事指定 第1412801068号）

令和6年3月31日現在利用状況

サービスの種類	定員	現員	備考
生活介護	10名	12名	
就労継続支援B型	10名	12名	

令和6年3月31日現在障害支援区分分布表

区分	生活介護	就労継続支援B型
区分6	3	1
区分5	6	
区分4	3	2
区分3		5
区分2		2
区分1		
なし		2
合計	12	12
平均	4.9	2.8

平均年齢

	令和6年3月31日現在
通所	41歳

9. 事業報告

【ハッピーラボ】

① 生活介護／②就労継続支援 B 型

- ・ 8 月と 2 月に健康診断実施。以前は、隣接しているはだの松寿苑の会場で実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、松下園にて実施する。
- ・ 看護師の定期的な訪問により様子観察と聞き取りを行なった。
- ・ 昼食に関しては、山路フードサービスの仕出し弁当を利用している。
- ・ スペシャルランチなど、食の楽しみに関するイベントを定期的実施している。
- ・ 新型コロナウイルス感染対策を行ないながら散歩やドライブの余暇を充実させる機会を設けた。
- ・ 生産活動に関しては、利用者のニーズや状態に応じて、日中の作業に参加していただいている。1 日 6 時間の作業時間を上限とし、時間数などは個別に対応している。

<生産活動>

・ 下請け作業

主にボールペンの組み立てや OA 機器の加工や包装作業に取り組んでいる。

シールラベラーを導入し消臭剤・除菌剤の作業効率向上に取り組んだ。

主要取引先

中谷商工株式会社
株式会社デュゼ
みつわ印刷株式会社

・ 餃子製造販売 ※店舗名：幸せ餃子

主に冷凍餃子の製造と販売を行っている。店舗では他福祉施設の商品も数点販売を行なっている。その他、ともしびショップでも販売を行っている。

主要取引先

ともしびショップゆめ散歩
ともしびショップにじ散歩
ともしびショップま木
各福祉施設
インターネットショップ (yahoo)
ふるさと納税返礼品 (ふるさとチョイス/ふるなび/さとふる)
レンブラントホテル厚木

有限会社山進商会
東京カントリー倶楽部
はだのじばさんず
レストランふらっと

・移動販売車（キッチンカー）販売/ケータリング等実績

4月：6日間（6件）
5月：6日間（6件）
6月：5日間（5件）
7月：8日間（8件）
8月：12日間（12件）
9月：11日間（11件）
10月：8日間（8件）
11月：8日間（8件）
12月：7日間（7件）
1月：3日間（3件）
2月：3日間（3件）
3月：1日間（1件）

『工賃支払い実績』《生活介護》

	工 賃	対象者数
4月	172,500	12
5月	172,500	12
6月	164,803	12
7月	165,716	12
8月	161,975	12
9月	156,431	12
10月	163,506	12
11月	160,563	12
12月	165,786	12
1月	152,252	12
2月	162,246	12
3月	163,176	12
合計	1,961,454	144
平均	13,621	—

『工賃支払い実績』《就労継続支援 B 型》

	工 賃	対象者数
4 月	450,834	12
5 月	395,732	12
6 月	391,221	12
7 月	395,926	12
8 月	396,542	12
9 月	382,249	12
10 月	337,733	12
11 月	352,105	12
12 月	361,665	12
1 月	340,054	12
2 月	363,102	12
3 月	355,866	12
合計	4,523,029	144
平均	34,110	—

※平均工賃の新算定式

年間工賃支払総額 ÷ (年間延べ利用者数 ÷ 年間開所日数) ÷ 12 月

事業経過

上半期

4月					食事会議
3	月	開園記念日・入社式など	13	木	ラボ会議
		入所・通所利用者会議	14	金	リーダー会議
4	火	食事会議	17	月	出勤日
5	水	日中活動支援委員会	25	火	虐待防止委員会
6	木	ホーム利用者会議ホーム委員会	26	水	福祉会計
7	金	防災災害対策委員会・就労支援会議			安全衛生管理委員会
10	月	生活会議	28	金	幹部会議
13	木	ラボ会議	31	月	連絡調整会議
14	金	リーダー会議	8月		
20	木	スペシャルランチ（松下園）	2	水	日中活動支援委員会
21	金	幹部会議	3	木	ホーム委員会
25	火	虐待防止委員会	4	金	防災災害対策委員会/就労支援会議
26	水	安全衛生管理委員会	7	月	生活会議
5月			9	水	食事会議
1	月	連絡調整会議	10	木	園内清掃
3	水	出勤日	12	土	貯水槽清掃
10	水	日中活動支援委員会	13	日	防火・防犯パトロール
11	木	ホーム委員会	15	火	出勤日
12	金	防災災害対策委員会/就労支援会議	17	木	健康診断(松寿苑)
15	月	福祉会計(決算)			ラボ会議
		生活会議	18	金	リーダー会議
17	水	食事会議	22	火	虐待防止委員会
18	木	ラボ会議	23	水	健康診断(松下園)
19	金	リーダー会議	25	金	スペシャルランチ【松下園】
23	火	虐待防止委員会/連絡調整会			幹部会議
25	木	監事監査(國井)/幹部会議	28	月	連絡調整会議
26	金	監事監査(柳沢)	30	水	安全衛生管理委員会
		幹部会議	9月		
29	月	連絡調整会議	1	金	福祉会計
31	水	安全衛生管理委員会	5	火	日中活動支援委員会
6月			6	水	ホーム委員会
1	木	ホーム委員会	7	木	チャリティーゴルフ(チェックメイト)
2	金	理事会(はだの松寿苑)	8	金	防災災害対策委員会/就労支援会議/法人研修
7	水	日中活動支援委員会	11	月	生活会議
9	金	防災災害対策委員会/就労支援会議	12	火	神奈川県指導監査
12	月	生活会議	13	水	食事会議
14	水	食事会議	14	木	ラボ会議
15	木	ラボ会議	15	金	リーダー会議
16	金	リーダー会議	18	月	出勤日/作業場見学会
21	水	評議員会(はだの松寿苑)	20	水	箱根旅行
22	木	スペシャルランチ【松下園】【ラボ】	22	金	幹部会議
23	金	幹部会議	25	月	連絡調整会議
26	月	ワクチン接種	26	火	虐待防止委員会
		連絡調整会議			箱根旅行(ラボ)
27	火	虐待防止委員会	27	水	安全衛生管理委員会
28	水	安全衛生管理委員会			
7月					
4	火	日中活動支援委員会			
5	水	日帰り旅行(横浜)			
6	木	ホーム委員会			
7	金	防災災害対策委員会/就労支援会議			
10	月	生活会議			
12	水	日帰り旅行(横浜)			

事業経過

下半期

10月 1 月 ラボ開所記念日(スペシャルランチ) 入所・通所利用者会議 4 水 日中活動支援委員会 5 木 ホーム委員会/ホーム利用者会議 6 金 防災災害対策委員会/就労支援会議 9 月 出勤日 12 木 スペシャルランチ【松下園】 16 月 生活会議 18 水 食事会議 19 木 ラボ会議 20 金 リーダー会議 24 火 虐待防止委員会 25 水 安全衛生管理委員会 27 金 幹部会議 30 月 連絡調整会議		10 水 日中活動支援委員会 11 木 ホーム委員会 12 金 防災災害対策委員会/就労支援会議 15 月 生活会議 16 火 福祉会計 17 水 食事会議 18 木 ラボ会議 19 金 リーダー会議 23 火 虐待防止委員会 26 金 幹部会議 29 月 連絡調整会議 31 水 安全衛生管理委員会
11月 1 水 日中活動支援委員会 2 木 ホーム委員会 6 月 理事会(はだの松寿苑) 9 木 インフルエンザ予防接種 10 金 防災災害対策委員会/就労支援会議 13 月 生活会議 15 水 評議員会/食事会議 16 木 ラボ会議 17 金 リーダー会議 24 金 幹部会議 27 月 連絡調整会議 28 火 虐待防止委員会 29 水 安全衛生管理委員会		2月 2 金 ホーム委員会 7 水 日中活動支援委員会 8 木 スペシャルランチ【松下園】 9 金 防災災害対策委員会/就労支援会議 12 月 生活会議 14 水 食事会議 15 木 ラボ会議 16 金 リーダー会議 21 水 幹部会議 22 木 健康診断 虐待防止全体研修 26 月 連絡調整会議 27 火 虐待防止委員会 28 水 安全衛生管理委員会
12月 1 金 福祉会計 2 土 電気点検 4 月 ワクチン接種 6 水 日中活動支援委員会 7 木 ホーム委員会 ワクチン接種 8 金 防災災害対策委員会/就労支援会議 11 月 生活会議 13 水 食事会議 14 木 ラボ会議 15 金 リーダー会議 16 土 クリスマス会 18 月 福祉会計 21 木 スペシャルランチ【松下園】 22 金 幹部会議 25 月 連絡調整会議 26 火 虐待防止委員会 27 水 安全衛生管理委員会 29 金 スペシャルランチ【ラボ】		3月 4 月 理事会(はだの松寿苑) 日中活動支援委員会 5 火 ホーム委員会/ホーム利用者会議 8 金 個別支援計画会議(就労) 防災災害対策委員会/就労支援会議 11 月 生活会議/個別支援計画会議(生活) 13 水 評議員会 14 木 個別支援計画会議(ラボ) ラボ会議 15 金 福祉会計 リーダー会議 食事会議 20 水 出勤日 22 金 幹部会議 25 月 連絡調整会議 26 火 虐待防止委員会 27 水 安全衛生管理委員会
1月 1 月 元日 2 火 冬期休暇 3 水 冬期休暇 8 月 出勤日		

令和5年度 施設外研修・講習等職員派遣状況

上半期

[illegible]

令和5年度 施設外研修・講習等職員派遣状況

下半期

9月			
22	木	キャリアパス研修(光本)	
29	金	施設長会 (ZOOM)	
10月			
12	木	法人研修 キャリアパス研修(安齊)	
19	木	相談支援研修会【渡邊・野澤】	
26	木	権利擁護研修会(久保寺)	
27	金	区分認定調査員研修(加藤・小林)	
11月			
8	水	キャリアパス研修(綾部)	
9	木	キャリアパス研修(綾部)	
10	金	法人研修 商工会青年部研修(小室)	
14	火	施設長会研修会	
15	水	改正障害者差別解消法説明会	
12月			
7	木	法人研修 商工会研修(小室)	
13	水	施設部会施設長セミナー	
14	木	商工会研修(小室)	
15	金	施設長会Zoom(小室)	
22	金	相談支援事業所連絡会(久保寺・野澤)	
1月			
11	木	事務研修部会	
12	金	法人研修	
16	火	チーム支援連絡協議会	
24	水	就労支援部会(小室)	
2月			
1	木	地域防災対策委員会Zoom(小室)	
2	金	施設部会(小室)	
9	金	法人研修(神達・綾部)	
10	土	支援推進機構研修会(小室)	
14	水	福祉事業者指導講習会	
16	金	施設長会(小室) GH事業所連絡会(山口)	
19	月	オンブズマン研修Zoom(西山)	
20	火	福祉事業所合同説明会	
22	木	虐待防止全体研修	
27	火	障害者支援施設部会Zoom(小俣)	
29	木	支援スタッフ部会Zoom(神達)	
3月			
1	金	キャリアパス研修(光本)	
8	金	法人研修 障がい福祉サービス事業所研修会(小室)	
14	木	みんなの広場理事会(小室)	
18	月	人権委員会(小室)	
22	金	商工会5年度卒業式(小室)	

令和 5 年度

事 業 報 告 書

【指定障害福祉サービス事業 キャンバス秦野】

- ① 自立訓練〔生活訓練宿泊型〕
- ② 共同生活援助

令和 6 年 6 月 18 日

社会福祉法人寿徳会

令和5年度 キャンパス秦野 事業報告書

5月に新型コロナウイルスが5類となったことを受け、感染拡大防止対策を厚労省や保健所等の方針や指示に従いながら、徐々にコロナ禍前の生活を取り戻せるように見直し、生活や行事等に反映させた。

感染者が発生した際は、臨時の特別感染拡大防止対応を行うと共に、感染者に自宅療養をお願いしたり、施設やGH内で療養する際のマニュアルを作成・対応を行うことでクラスターを防ぐことができた。

令和6年度の能力開発センターの応募者が、法定雇用率の上昇、就労支援機関が増えたこと等から応募者が減った。能開と協力して追加募集の取り組みを行ったが初の定員割れとなった。次年度以降に向け、能開とキャンパスの強みと魅力を学生、保護者、先生、支援機関等に向けて発信し、応募者を増やせるように計画して取り組んでいく。

1. 人材育成・定着・確保

(1) 人材育成・定着

常勤職員を対象に「アクションプランシート」に、自分自身の目標を設定し、達成に向けて取り組んだ。年2回、上長との面談を行い、達成状況の確認を行うと共に、近況報告や相談、「人権自己管理チェックリスト」の記載内容などを聴き取り、本人の気づきや上長の助言を通して、人材育成および定着の機会とした。

今年度より新人教育として、チューター制度を設けた。同性の職歴の浅い職員に、教育・相談係を担ってもらい、採用から1年間（非常勤職員は半年）、利用者の権利擁護を中心に、福祉施設に従事する者の心構え、利用者支援、業務、人間関係などについて月に1回の面談を行った。

(2) 関連団体研修への参加

専門的知識および技能の習得、良識ある社会人となることを目的に、外部または法人研修に可能な限り参加出来るよう調整し、下表のとおりを実施した。

「意思決定支援」の外部研修に参加し、会議で職員間に周知した。

日 付	研修内容（★は法人内研修）	講師もしくは主催
5月12日	★接遇とホスピタリティー	大畑 眞由美（カラーズ職員）
5月30日	接遇・マナー研修	神奈川県社会福祉協議会
6月26日	★感染症予防（食中毒防止）	はだの松寿苑看護師

日 付	研修内容 (★は法人内研修)	講師もしくは主催
6 月 8 日	★レジリエンストレーニング	江口 智子氏
6 月 26 日	★感染症予防 (食中毒防止)	はだの松寿苑看護師
6 月 26 日	新社員等消防研修会	秦野市防火・危険物安全協会
7 月 6 日	★良い人間関係、職場環境を 築くために	江口 智子氏
7 月 19 日	発達障害の特性理解と支援	秦野市社協
7 月 20 日	★新任職員研修 (法人理念と 歴史、接遇・マナー、アング ーマネジメント)	久保谷施設長
7 月 27 日	新任職員人権研修	竹の子学園全施設長 坂井 正志氏
7 月 28 日	苦情解決研修 (第 1 回基礎編)	かながわ福祉サービス適正 化委員会 (オンライン研修)
8 月 10 日	神奈川県意思決定支援 ガイドライン研修	かながわ障がいケアマネジ メント従事者ネットワーク
8 月 22 日	GH での生活支援を長く 続けるために	秦野市社協
9 月 15 日 22 日	新任職員 キャリアパス研修	神奈川県社会福祉協議会
10 月 3 日 10 月 4 日	第 34 回グループ ホーム等研修会 (広島)	日本知的障害者福祉協会 中国地区的障害者福祉協会 広島県知的障害者福祉協会
10 月 12 日 11 月 10 日	★リーダー研修 マネジメン トとリーダーシップ	江口 智子氏
12 月 8 日	グループホーム職員研修 支援対象者の理解と 虐待防止 (伝達研修)	神奈川県福祉子ども未来局 福祉部障害サービス課
12 月 20 日	★ユニットリーダー研修	はだの松寿苑 石田課長
1 月 12 日	★防犯研修	秦野警察署 生活安全課
1 月 14 日	『財政会計システム』『日 常処理編』	SWING
3 月 1 日	新任職員キャリアパス研修 フォローアップ研修	神奈川県社会福祉協議会
3 月 8 日	接遇リーダー研修	神奈川県社会福祉協議会
3 月 8 日	★管理者研修 健全な組織運営のために	江口 智子氏

(3) 人材確保

ハローワーク、コメディカルドットコム、インディードを活用して募集を行ったが採用に結びつかなかった。ネット媒体の有料求人サイトを活用したことで、次年度より常勤職員を採用することができた。

2. 支援の質の向上

(1) 自己選択、自己決定、意思決定の尊重

利用者支援に於いて、生活全般にわたる全ての決定に対して個人の判断を尊重しつつ、利用者個々の能力に応じた支援を行った。

主な事例として、共同生活援助の利用者が家族と暮らしたいと希望した際に、生活や仕事の維持、金銭管理、家族間の関係性に課題があったが、本人の意思を確認しながら、福祉機関とケースカンファレンスを開催するなど、地域と連携して移行や家族との調整を行った。

(2) 権利擁護意識の向上と課題の共有

利用者の権利擁護を最優先とし、「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」および「キャンパス秦野人権擁護マニュアル」「キャンパス秦野スタッフ行動規範」「スタッフ行動規範注釈」の精神に則り、いかなる差別、虐待、人権侵害も発生しないように、且つ感情に左右されず柔軟な姿勢や温かみのある接遇を心がけた。

3ヵ月毎に職員に「人権自己チェックリスト」を記載し、職員会議にて結果報告と意見交換を行い、気づきや意識向上の機会を持った。

支援の振り返り、虐待防止や権利擁護・身体拘束適正化に関する外部研修の受講、内部研修の実施、虐待発生時の情報を周知し教訓にすることで知識や意識を高めた。

1年間を通して虐待事例が発生することは無かった。

(3) 個別支援計画

本人と保護者との面談、意思を元に個別支援計画を作成。利用者一人ひとりの個性や能力に合わせた支援を行った。

課題等がある際は、その都度もしくは、ケース会議において対応の検討及び見直しを図った。

(4) 顧客満足度調査

夏休みを利用して全ての利用者および保護者に調査用紙を配布した。

60点満点で平均が46.9点と昨年と比較して0.2点上昇した。

12の設問中、6項目が上昇、2項目が下落した。

可能な範囲で指摘事項の改善を実施。11月に文書にて結果と改善点を

職員・利用者・保護者に配布した。

(5) 安全な支援体制の確立

①ヒヤリハット事例

利用者の生活と職員の業務を安全に行えることを第一に考え、危険を予測し、事故や日々の業務上のミスを未然に防止、もしくは再発防止のため「ヒヤリハット報告書」を作成した。対策や効果をヒヤリハット委員会がまとめ、職員会議で共有することで各種事故防止に努めた。また必要に応じマニュアルや申し送りを定めた。

【ヒヤリハット（27件）】

②事故報告

業務上発生した事故について「事故報告書」を作成し、発生状況や原因、責任の所在を明確にして、今後の対応と再発防止に努めた。「事故報告書」は県障害サービス課、秦野市障害福祉課、利用者の援護機関に報告した。

【事故報告書（2件）】

(ア) 能開生の無届外泊（6月25日）

- ・ 帰寮時間を過ぎても不在だったことから、ご家族に連絡。「寮の友人と外出する。」と昼過ぎに自宅を出たとのこと。本人の携帯電話に連絡するが繋がらず。学生時代にも無届外泊を数回行っていたことから、保護者と相談して捜索願は出さずに様子を見る。翌日に本人から連絡があり帰寮。原因として、最初はゲーム大会を見たかったと話したが、後日、人間関係のストレスと訴えを変えた。

(イ) 能開生同士の不適切な身体接触（6月26日）

- ・ 能開生1年生の男女1組が、帰宅日にホテルに行っていたことが保護者からの相談で分かる。能開・寮でも適度な距離感が保てず、その都度面談を行っていた。
双方の保護者と面談。両名にパーソナルスペースを確保した距離を保つ（片手を伸ばす程度）、当面の間、2人が同時刻に外出しないよう外出日時を決める、男性側は保護者の精神的負担を軽減するために、帰宅時に寮で過ごす日を作るなどの決まりを設けた。

③委員会

各委員会で下記の活動、BCP・指針の作成を行い防止策や有事に備えた。

(ア) 権利擁護・身体拘束適正化委員会

- ・ 「虐待防止の為に指針」「身体拘束適正化のための指針」作成
- ・ 「人権チェックリスト」を3ヵ月毎に記入し、集計、意見の徴収と助言、個人面談への活用。

- ・虐待防止研修の実施

(イ) 薬・感染症対策委員会

- ・「感染症(又は食中毒)の予防及びまん延防止のための指針」「感染症発生時の BCP」作成
- ・利用者の薬関連の課題、薬に関するヒヤリハット事例

(ウ) 防災委員会 (名称は継続)

- ・「災害発生時の BCP」の作成
- ・防災備品・非常食の管理

④苦情解決

法人の「苦情に関する規則」に基づき、苦情受付担当者および苦情解決責任者を置き、第三者委員と連携を図りながら苦情解決に当たった。

意見箱、顧客満足度調査、第三者委員との面談等で利用者や保護者からの苦情を聴取した結果、報告に該当する苦情はなかった。

3 法人協同の J S Y ネットは新型コロナウイルス感染症予防のため開催されなかった。

3. 業務改善

業務過多の傾向にあるため、改善方法を業務検討委員会と職員からの提案で見直し、省力化とライフワークバランスを図った。

- ①夜勤、遅番職員の業務分担の変更
- ②1 日の個別支援対応人数の見直し
- ③業務ボード電子化 (令和 6 年 5 月実施予定)
- ④令和 6 年度以降の見直し
 - ・毎朝の検温確認の廃止。(感染症発生時のみ実施)
 - ・コロナワクチン接種希望者は医療機関にて行う
 - ・オープンキャンパスの回数を 8 回→4 回に縮小

4. 新型コロナウイルス感染予防・防止対策およびウィズコロナへの転換

(1) 感染拡大防止対策

厚生労働省から示された新型コロナウイルス感染拡大防止策のガイドラインを参考に寮内での感染症対策を講じた。

5 類移行後、障がい福祉施設は慎重な対応を求められたが、利用者が若く、ハイリスクとなる既往症を持つ方も少ないことから、適切でバランスの取れた感染拡大防止対策と緩和策を保健所等に確認しながら行った。

(2) 特別感染拡大防止対応

寮生活中に発症、もしくは感染が疑われた場合、県クラスター班（4月中）や保健所、能力開発センターと連携し、通常の感染防止対策に加え、以下のことを状況に応じて実施した。

- ①職員のN95マスク着用
- ②交流室の人数・時間制限
- ③入浴の人数制限
- ④濃厚接触の疑いがある者への抗原検査（4月のみ）
- ⑤能力開発センターの通所を学年別に行い、在寮者は部屋もしくは、公共スペースにて訓練（4月のみ）

(3) 緩和策（令和5年5月以降 順次実施）

- ①一般生マスク着用の個人判断（能開生は能開の決まりに準じ着用）
- ②能開での訓練を両学年、同時通所の再開
- ③屋内行事の規制見直し・撤廃（中庭でのBBQ、クリスマス会、入寮説明会等）
- ④外部交流行事の再開（自由外出、夏・冬日帰り旅行、寿徳会フェスティバル等）
- ⑤毎朝の検温表の記載を感染症発生時に限定（令和6年度より実施）

(4) 新型コロナウイルス感染状況

発生月	利用者	職員	備考
	陽 性	陽 性	
4～6 月	0	0	
7 月	1	0	
8 月	1	0	夏期帰宅中の発症の為対応無し
9 月	3	1	
10～11 月	0	0	
12 月	1	0	
1 月	4	0	
2 月	2	0	
3 月	1	0	
合計	13	1	

陽性もしくは、感染の疑いがある方は極力、ご自宅での療養を依頼した。
寮内、GH内での療養者も出たが、マニュアルを作成、調整、対応を行ことで感染拡大を防ぎ、クラスターの発生やレッドゾーン設置に至らなかった。

5. 利用者支援

(1) 健康管理

①健康管理全般

利用者が健康管理について興味や意識を持てるよう支援した。同時に職員は利用者の様子観察に努め、保護者との連携を図り健康管理にあたった。また毎朝の検温を実施し、不調者の早期発見に努めた。

生活に支障の無いように利用開始時には健康診断書および健康調査票の提出を依頼し、持病、服薬の有無等の確認を行った。

②服薬管理

自立に向けて、自己管理が行えるように個々の能力に応じて段階的に支援を行った。

○自立訓練

	自己管理	職員管理	合計
男	8	10	18
女	3	3	6
合計	11	13	24

○共同生活援助（男性のみ）

	自己管理	職員管理	合計
合計	4	5	9

(令和6年3月31日現在)

③通院

初診時に職員が付き添い受診方法等を支援し、単独通院ができるよう支援した。単独での通院が難しい場合は職員や保護者が引率を継続もしくは、連絡ノートにて医師との情報交換を行った。

○通院状況（延べ人数）

	内科	精神科	耳鼻科	皮膚科	眼科	歯科	整形外科	その他
自立訓練	11	1	4	0	2	1	20	1
共同生活援助	27	16	6	1	20	14	2	2

(令和6年3月31日現在)

(2) 食事（富士産業）

自治会や顧客満足度調査、検食日誌を通して、利用者から食事に対する意見を聴く機会を設けた。また職員と委託業者との打ち合わせを2か月

に1回毎に開催し、メニューや食事環境などの改善に向けた。

感染症対策の為、食事時間を各学年30名ずつに分けて提供した。

四季折々のメニューを盛り込んだ行事食により食事の楽しみを増やした。8月にはコロナの影響で控えていた敷地内でのバーベキューを実施した。

(3) 金銭管理

「預かり金管理規程」に基づき金銭管理を実施した。小遣いに関しては1か月分を計画的に使えるよう支援した。また通帳と印鑑を別々に保管し、現金の出し入れの際は、複数の職員で確認し、さらに本人確認のためのサインをすることで適切に管理している。

(4) 利用者自治会（年4回）

利用者の自主的な運営による自治会活動により充実した寮生活を検討した。会議で提案された意見は「意見・要望等報告書」にまとめ様々な要望に答えた。

(5) その他

①居室整理

自主的に整理整頓や衛生的に自室を使えるように、利用者個々の能力に応じて、平日の夜間や休日の空いた時間を利用して個別に支援した。

②入浴

清潔を保てるよう毎日の入浴を実施した。入浴時には職員を常時配置して衣類の着替え、皮膚疾患の発見や治療、事故防止、感染症対策に配慮した。

③洗濯

各自が1日おきに洗濯出来るようプログラムし、洗濯から衣類の収納まで、一連の行動が習得できるように必要に応じて支援を行った。

④リネン（柴橋商会）

委託業者とのリース契約により布団（年1回）、シーツ（週1回）の交換を実施した。利用者にはベッドメイキングが自力で行えるように個々に合わせた支援を行った。

6. 自立訓練（生活訓練宿泊型）事業

（１）利用状況

自立訓練（生活訓練宿泊型）事業 ５８名

（２年生が２名欠員）

令和６年３月１５日現在

（２）生活支援

神奈川能力開発センターと連携し、社会人になることを前提とし、自主性を育み、規則正しい生活・協調性・マナー・規律の遵守などが習得できるように支援を行った。

内容によっては、保護者、地域の福祉資源、医療機関、出身校などと連携することもあった。

支援の際は、傾聴や個人の意見を尊重しながら、ひとりの大人として対応することを心掛けた。

（３）行事および余暇活動等

事業所内や関係者だけ行える地域奉仕、行事食等は感染症対策を行いながら実施した。コロナ感染防止のため控えていた自由外出、夏休み・冬休み明けに行っている日帰り旅行を感染防止対策を講じながら再開した。

（４）令和６年度の入所者

令和６年４月に入学する３８期生（定員３０名）の応募が過去最低の３１名となり、１次選考では２４名（男子２３名・女子１名）が合格。

定員に達するまで、年度内に追加募集と選考試験を適宜、行い、２８名（男子２７名・女子１名）の入所、２名の欠員となった。

（５）令和７年度以降の応募者確保への取り組み

応募者が減った原因として、法定雇用率の増加、通所の自立訓練の事業所が増え、進路の選択肢が増えたこと、フリースクールなどの定員割れなどが挙げられる。能開の応募者を確保に向け、社会情勢を見極めながら、以下の応募者を増やす取り組みを実施もしくは計画している。

①PR活動

学校や基幹相談支援センターへの訪問、説明会参加、電話連絡、文書送付等を能開と共に実施。

②SNSの活用

（ア）ホームページ

現訓練生、卒業生と保護者にアンケートを行い、寮生活のメリットを閲覧できるようにした。

(イ) インスタグラム

8 月下旬から 1 週間に 1 回のペースで投稿。100 人から 200 人が閲覧している。

(ウ) YouTube

5 月中旬に施設紹介動画を作成しアップした。

※上記 3 点をパンフレット・名刺等に QR コードを記載。PR 時に紹介している。

③見学方法の見直し

(ア) 能開・キャンパスの合同パンフレット

説明時に使用するパンフレットを合同で作成。3 月末から使用している。

(イ) パワーポイントでの説明

要点を画面に映して説明できるように作成中。令和 6 年 6 月完成、運用を予定している。

(ウ) 見学後のアンケート

感想や意見を伺い、分かりやすく好印象を持って頂けるように反映させると共に、見学者の情報から応募人数の予測を立てている。

(エ) オープンキャンパス

感染症防止対策として、現利用者不在で行っていたため、寮生活のイメージが伝わりづらかった。令和 6 年から現利用者が在寮し、見学者に生活や支援の様子を再現・対話できる方法で計画している。

④設備の充実、修繕などを行い見た印象を良くする。

(ア) 全室と共有スペースの照明を LED に変更

(イ) 全室と共有スペースのカーテンをリースに交換

⑤女子応募者が増えるように、待遇、共有スペース、備品の充実などを図り、快適に過ごせるようにした。

(ア) 冷蔵庫を清潔に、保管しやすく改良

(イ) 女子用の掲示ボードの設置

(ウ) 5 階交流室のリフォーム

(エ) 男女交流時間の設置

7. 共同生活援助事業

(1) 利用状況

共同生活援助（グループホーム）事業

16 名

【内訳】

・キャンパス秦野	12名
退所 2名、新規利用 2名	
・堀山下ホーム	4名

(2) 生活支援

利用者のライフサイクルに合わせた暮らしができるように支援を行った。

(3) 職場との連携

職場との情報交換を密にし、必要に応じて職場訪問をするなどして利用者が安定して働けるよう支援した。また就労支援機関とも連携し、定着支援にも取り組んだ。

新型コロナウイルスなどの感染症が発生した際の連絡方法を事前に決め、発生時に情報交換や利用者対応を実施した。

(4) 金銭管理

各自の金銭管理能力や通勤や余暇などに必要な金額、収支バランスに合わせ、担当職員が本人との相談や助言をしながら支援を行った。

(5) 堀山下ホーム

より地域性の濃い生活を目指すため、市内堀山下にある民間アパートを2室借り、4名の利用者が暮らしている。世話人が食事作りや清掃、服薬確認、相談などの支援を担当職員と協力しながら行った。

9月に2名が新型コロナウイルスに感染し、堀山下ホームにて初の療養を行った。事前に準備したマニュアル通りに進まないこともあり、微調整をしながら対応した。

8. 職員

(1) 職員体制

管理者	2名（自立訓練宿泊型／共同生活援助）
サービス管理責任者	2名（自立訓練宿泊型／共同生活援助）
生活支援員ほか	15名（常勤：8名／非常勤：10名）

(2) 人材状況

- ①入職：常勤職員2名（令和5年5月1日採用、令和6年4月1日正式採用）
- ②退職：常勤職員1名（令和5年8月31日付）
- ③異動：常勤職員1名（令和6年4月1日付でカラース学童保育に異動）

- ④産休・育休 1名（令和4年3月～令和5年5月まで育休、
令和6年2月～産休・育休取得中）

（3）主な業務

- ①生活支援全般
- ②個別支援計画の立案、実施・記録および報告
- ③金銭管理
- ④貴重品管理
印鑑、健康保険証、預貯金通帳、現金、療育手帳、受給者証、
マイナンバーなど
- ⑤与薬、治療及び薬の管理
- ⑥通院付き添い
- ⑦行事計画、実施および報告
- ⑧保護者、市区町村、能力開発センター、その他関係機関との調整
- ⑨リネン管理、消耗品の購入及び配布
- ⑩寮内整備
- ⑪入所および退所時支援
- ⑫就労支援

（4）常勤職員会議・ケース会議

令和4年度は「常勤職員会議」と、全職員が参加する「職員会議」「ケース会議」の3つの会議があった。今年度は、会議の効率化や非常勤職員の負担軽減を図り、職員会議を廃止して「常勤職員会議」に統一した。

「ケース会議」は1回の非常勤職員の参加を2～3名に変更し、不参加者に事前に意見を伺うことで反映させ、会議後は記録を回覧して周知した。

9. 情報開示・情報発信

事業の透明性を図るため、事業所内掲示板、ホームページ、情報誌（キャンパスだより）等で情報開示を行った。

寮内の様子を知ってもらうこと、新規利用者・求人の獲得等に繋がるように、笑顔発信委員会と共に、インスタグラムでの情報を発信している。8月下旬から、1週間に1回のペースで、担当者や発信内容を計画して実施している。パンフレット、見学対応、対外行事でPRを行い、100人から200人が閲覧している。

LINEを保護者への緊急連絡のツールとして整備し、急遽の予定変更や新型コロナウイルス感染状況報告などに利用した。

10. 地域交流

(1) 自治会行事への参加

①防犯パトロール

戸川西自治会との防災協定により、相互の災害時支援体制を強化する中で地域住民とともに夜間の地域パトロールに参加した。

(2) 地域との交流

①地域奉仕（5月）水無川および付近の道路の清掃を実施（カラーズと合同）

②寿徳会フェスティバル（10月）

③共同募金（11月）マックスバリュ渋谷店にて街頭募金を実施

11. 災害・防犯対策

あらゆる災害に備えるため下記の通り様々な対策を講じた。

①防災マニュアルの読み合わせ（毎日）

②防災委員会（1回/2ヶ月）

③非常食セット（110人×3日分：令和6年3月31日現在）

④寿徳会と戸川西自治会による合同会議（令和5年度は実施せず）

⑤防災・防犯訓練（下表参照）

【キャンパス秦野】

実施日	所要時間	出火場所 (想定)	参加人員		訓練内容
			利用者	職員	
4/6	17:02 ～17:10	1階 ボイラー室	30(1年生) 28(2年生)	7	火災を想定した避難誘導 訓練・通報訓練
6/9	16:54 ～17:05	1階 厨房	27(1年生) 24(2年生)	8	地震後に火災を想定した 避難誘導訓練・通報訓練
7/14	15:30 ～16:30	3階～ 2階廊下	29(1年生) 25(2年生)	9	・不審者が侵入したことを 想定した対応訓練（利用 者は部屋に一旦避難） ・警察官による防犯指導
11/3	15:30～ 16:30	3階～ 2階廊下	24(1年生) 25(2年生)	5	地震後に火災を想定した 避難誘導訓練・通報訓練

【堀山下ホーム】

実施日	所要時間	出火場所 (想定)	参加人員		訓練内容
			利用者	職員	
5/13	15:12～15:15	105号室 キッチン	4	2	地震後に火災を想定した避難誘導訓練・通報訓練
11/25	15:05～15:07	102号室 キッチン	4	1	地震後に火災を想定した避難誘導訓練・通報訓練

12. 資料

(1) 保健衛生

12月4日 新型コロナウイルスワクチン接種（7回目）

※利用者が対象

(2) 施設管理

4月 3日 特殊消防用設備等点検
 23日 簡易専用水道検査
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 5月10日 地下タンク等漏洩点検作業
 22日 消防署立ち入り検査
 20日 エレベーター保守点検
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 6月15日 2F洗濯機配水管洗浄
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 7月13日 浴槽循環配管薬品洗浄
 23日 消防立ち入り検査改善実施報告
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 27日 貯水槽清掃・飲料水水質検査
 8月 8日 厨房排水管およびグリストラップ清掃
 15日 エレベーター保守点検
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 9月26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 26日 防火設備定期点検
 10月26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 30日
 11月13日 エレベーター保守点検
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 12月18日 自家発電設備模擬負荷試験

26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 1月26日 エレベーター保守（ヘリオス）
 2月21日 エレベーター保守点検
 3月 5日 ボイラー及び貯湯槽点検整備作業
 25日 地下タンク等漏洩点検
 26日 エレベーター保守（ヘリオス）

① 修繕および備品購入等

4月 2日 浴室内椅子交換
 16日 玄関マット交換
 28日 パソコン2台購入
 5月 2日 掃除機購入
 10日 堀山下用掃除機購入
 18日 草刈り機購入
 23日 居室修繕作業
 29日 机、椅子購入
 30日 堀山下電気ケトル購入
 6月 2日 防災用簡易式トイレキット購入（200回分）
 7日 堀山下エアコン購入
 9日 GH利用者用電子レンジ購入
 9日 洗濯機購入（2台）
 14日 堀山下エアコン補修点検作業
 14日 電子ジャー購入
 7月 2日 2F交流室用DVDプレーヤー購入
 10日 5F中央廊下扉移設作業
 22日 5F女子トイレ詰まり修繕
 31日 消防用表示板、誘導標識設置
 8月20日 5F用掲示ボード購入
 21日 2Fエアコンクリーニング(202号)
 25日 デジタルフォトフレーム購入
 25日 居室一斉補修作業
 25日 引き出し修繕作業（3本）
 31日 食堂用エアコンクリーニング(大型2台)
 9月 4日 事務所用エアコンクリーニング(3台)
 13日 1Fみんなのトイレ換気扇交換
 20日 防災レースカーテン交換(2組)
 10月 7日 厨房用電子レンジ購入
 16日 消防設備修繕1回目（スプリンクラー設備）
 11月 1日 堀山下コンロ購入
 6日 厨房用殺菌灯交換・修繕

8日 防災レースカーテン交換(1組)
 10日 堀山下調理器具5点購入
 11日 防災用保存食(25セット)入替
 15日 消防設備修繕2回目(スプリンクラー設備)
 15日 416号引き出し修繕
 12月 4日 2F、5Fエアコンクリーニング(残り39室)
 9日 掃除機購入
 13日 LED照明設置に係る天井補修工事
 27日 消防設備修繕
 27日 自家発電設備負荷試験
 1月 4日 5F女子トイレ給湯器修理
 10日 厨房水栓修理
 15日 防災用ホッカイロ期限経過入替
 22日 215号室カーペットクリーニング
 2月 6日 防災レースカーテン交換(6組)
 7日 3Fトイレ污水管詰まり修理
 13日 交流室用DVDプレーヤー購入
 23日 浴室掃除用ケルヒャー購入
 3月 4日 食堂ウォータークーラー修理
 7日 厨房用電子ジャー(1升炊用)購入
 13日 4Fトイレ污水管詰まり修理
 21日 エレベーターケーブル交換工事
 22日 515号室リフォーム工事
 27日 デスクワゴン2台購入
 29日 防災レースカーテン交換(10組)
 29日 3F、4Fエアコンクリーニング(全40室)
 31日 消防設備修繕3回目(スプリンクラー設備)
 31日 貯湯槽マンホールパッキン交換
 31日 業務ボード自動化システム作成委託費

(3) 年齢

【自立訓練】

	10代	20代	計
女	3	4	7
男	26	22	48
計	29	26	55

【共同生活援助】

	20 代	30 代	60 代	計
女	0	0	0	0
男	7	8	1	1 6
計	7	8	1	1 6

(令和6年3月31日現在)

(4) 入院

【自立訓練】 無し

【共同生活援助】 1 名

(5) 市町村別利用数 (令和6年3月31日現在)

【自立訓練】

市町村名	利用数	市町村名	利用数
横浜市	5	厚木市	2
川崎市	3	大和市	1
相模原市	1 2	伊勢原市	8
平塚市	1	海老名市	2
藤沢市	5	綾瀬市	1
小田原市	3	寒川町	1
茅ヶ崎市	3	大磯町	1
逗子市	3	山北町	1
三浦市	1		
秦野市	2	合計	5 5

【共同生活援助】

市町村名	利用数
横浜市	2
相模原市	1
平塚市	1
小田原市	1
茅ヶ崎市	1
三浦市	1
秦野市町	6
葉山町	1
松田町	1
箱根町	1
計	1 6

(7) 障害支援区分（共同生活援助のみ）

1	4
2	1 1
3	1
4	0
5	0
6	0
計	1 6

(令和6年3月31日現在)

令和5年度行事等

10月1日(日) 帰寮 6日(金) 行事食 7日(土) 自由外出(女子) 8日(日) 帰宅 9日(月) 帰寮 10日(火) 福祉会計 11日(水) 運営会議 12日(木) 入所説明会(能開センターにて) 14日(土) 帰宅 15日(日) 帰寮 19日(木) 権利擁護委員会 相模原中央支援学校施設見学 20日(金) 帰宅 22日(日) 帰寮 25日(水) 常勤・職員会議、ケース会議、資産管理 28日(土) 寿徳会フェスティバル 30日(月) 連絡調整会議、人材会議 11月3日(金) 避難訓練、共同募金 4日(土) 帰宅 5日(日) 帰寮 6日(月) 理事会、医療感染症委員会 7日(火) 生蘭高等専修学校施設見学 8日(水) 運営会議 9日(木) インフルエンザ予防接種 11日(土) 帰宅 12日(日) 帰寮 13日(月) 笑顔発信委員会 14日(火) 生蘭高等専修学校施設見学 15日(水) 評議員会、防災委員会 18日(土) 帰宅 19日(日) 帰寮 22日(水) 資産管理 23日(木) 自治会 24日(金) 帰宅 26日(日) 帰寮 27日(月) 連絡調整会議、人材会議 29日(水) 常勤・職員会議、ケース会議 30日(木) 保土ヶ谷養護学校施設見学 12月1日(金) 帰宅、福祉会計 3日(日) 帰寮 4日(月) コロナワクチン接種 5日(火) 平塚支援学校施設見学 8日(金) 業務改善委員会 9日(土) 帰宅 10日(日) 帰寮 11日(月) 笑顔発信委員会 13日(水) 運営会議、ヒヤリハット委員会 16日(土) クリスマス会 20日(水) 常勤・職員会議、ケース会議 資産管理 23日(土) 大掃除、帰宅 25日(月) 連絡調整会議、人材会議 26日(火) 医療・BCP委員会 一般生忘年会 29日(金) 医療・BCP委員会	1月5日(金) 防災BCP委員会 7日(日) 冬休み企画 8日(月) 帰寮 11日(木) 医療・感染症委員会 12日(金) 権利擁護委員会 13日(土) 新年会 14日(日) 帰宅 15日(月) 帰寮 16日(火) 伊勢原支援学校施設見学 17日(水) 運営会議 20日(土) 帰宅、一般生自治会 21日(日) 帰寮 23日(火) 福祉会計 24日(水) 常勤・職員会議、ケース会議 27日(土) 帰宅 28日(日) 帰寮 29日(月) 連絡調整会議、人材会議 30日(火) 座間支援学校施設見学 2月3日(土) 帰宅 4日(日) 帰寮 5日(月) 入寮説明会 9日(金) 業務改善委員会 10日(土) 帰宅 12日(月) 帰寮、防災委員会 14日(水) 運営会議 16日(金) 自治会、福祉会計 18日(日) 帰宅 19日(月) 帰寮 笑顔発信委員会 21日(水) 常勤・職員会議、ケース会議 資産管理 24日(土) 帰宅 25日(日) 帰寮 26日(月) 連絡調整会議、人材会議 3月2日(土) 帰宅 3日(日) 帰寮 4日(月) 理事会 9日(土) 帰宅 10日(日) 帰寮 11日(月) 笑顔発信委員会 ヒヤリハット委員会 13日(水) 運営会議、評議員会 15日(金) 終了式(能開センターにて)、退寮手続き 福祉会計 16日(土) 1年帰宅 38期生契約 18日(月) 38期生契約 19日(火) 38期生契約 21日(木) 38期生契約 22日(金) 38期生契約 25日(月) 連絡調整会議、人材会議 資産管理 26日(火) 職員会議、ケース会議 27日(水) 医療・BCP委員会 29日(金) 防災委員会
---	--

令和 5 年度

事 業 報 告 書

【放課後児童健全育成事業 Colors 学童保育】

令和 6 年 6 月 18 日

社会福祉法人寿徳会

「子どもの生きる力を増し加える」という考えのもと、各学年に合わせた保育目標を意識し、自然遊び、工作、季節行事などを行った。

4月には16名が入所し、長期休み等の期間利用9名を合わせて入会者数58名となった。

5月から新型コロナウイルスが5類に移行し、利用者に一律な感染予防策を求めるのではなく、柔軟に対応した。

利用者獲得においては、学童体験や保育園との交流を行った結果、秦野市が運営している児童ホームとの違いが地域に伝わり、10月の入所説明会には22名が参加し、入所者16名・待機者4名に確定した。今後もColors学童保育の特徴を地域に発信し、利用者獲得に繋げていきたい。

1. 利用状況（令和6年3月31日現在）

（1）利用者：49名 ／ 入会者数58名

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
北小	14名	7名	9名	6名			36名
堀川小	1名	2名		2名			5名
西小	1名	3名	1名	1名			6名
その他		1名	1名				2名
計	16名	13名	11名	9名	0名	0名	49名

（2）職員 9名

放課後児童支援員 8名 1名が「はだの松寿苑」との兼務

補助員 1名

2. 支援の質の向上

（1）法令順守と虐待ゼロ

ア：3ヵ月に1回、職員面談を行い教育にあたった。また、利用者の支援方法、業務内容、職場環境等に対する様々な意見を聞き、一人で抱え込むのではなく、チームとして利用者に関わる方法を共有した。

イ：不適切保育 0件

（2）事故防止

ア：安全計画の策定

施設の安全点検、各種事故防止マニュアルの策定・見直しを行い、職員と共有した。

イ：事故防止

① ヒヤリハット21件

	送迎関係 (学校・習い事)	出欠席	習い事送り出し	その他
件数	8 件	7 件	4 件	2 件

傾向として「学校・習い事送迎の利用有無」「出欠席」についてが多かった。その内容を職員会議で周知し、対策について検討・共有した。

ウ：車両事故報告

① 公用車の接触事故 2 件

- ・公用車の右後方にぶつかったと思われる傷が見つかった。職員に状況を確認すると、2 週間前からあったというが、事業所長への報告、連絡ノートへの記載等はなかったため、詳細（いつ・どこで・誰が）は不明である。

対応⇒職員会議で報告した。事故の大きさに関わらず、必ず事業所長への報告を徹底するように伝えた。

- ・職員が利用者を乗せ、習い事送迎へ行く途中交差点の手前で車を追い越して右折レーンに入ろうとしたため、青信号で動いた一般車両と接触事故を起こす。職員、利用者、相手にケガはなかったが、職員の無理な追い越しによる接触事故のため、10：0 の割合での保険適用となり、相手の車両を修理した。

対応⇒職員会議で事故内容を周知し、当該職員は習い事送迎から外した。

3. 職員の確保・育成・定着

(1) 人材確保

	放課後児童支援員	補助員
入職者	0 名	4 名
退職者	2 名	0 名

ア：入職者の応募ルート：コメディカル 2 名 知人紹介 2 名

イ：退職理由：自己都合 2 名（内訳：処遇 1 名、体調不良 1 名）

ウ：インスタグラムなどで職員の働き方に焦点を当てた発信を行った。

(2) 人材育成

ア：個々のレベルアップのため、毎月内部研修を実施した。

イ：階層別の法人研修に職員を参加させ、スキルアップに努めた。

ウ：専門性追求のため、市や県が行う外部研修に職員 6 名を受講させた。

エ：放課後児童支援員の要件を満たした職員 1 名が受講し、資格を取得した。

(3) 人材定着

- ア：年度末に職場環境アンケートを実施した。職場環境、設備に対して改善を求める意見が多かった。
- イ：業務表（放課後保育）の変更を行い、業務を明確化した。
- ウ：職員からの意見・改善事項は職員会議アンケート等を通して上がってきた。

4. 子どもの安定的な確保

(1) 安定的な確保に向けた施策

- ア：北地域の保育園との交流イベントを行った。（6月）
- イ：地域の保育園にチラシを配り、学童の楽しさを体験してもらう「学童体験」を計画し、5組が参加した。（7月）
- ウ：インスタグラムを使用し、行事やヤギの様子などの発信を行った。（2週間に1回）
- エ：見学受付をGoogleフォームを使用し24時間対応できるようにした。
- オ：市内民間学童保育施設6団体が加盟する「秦野市学童連絡協議会」で秦野市民間学童マップを作成し、秦野市子ども育成課を通して市内の保育園と幼稚園の年長組に配布した。（9月）

(2) 施設、遊びスペースの改修

- ア：子どもたちのスペースを充実させるため、事務所をキッチンに移動し、事務所だった場所を保育室に移行した。
- イ：生活の向上のため、廊下の床補修・網戸の交換・男子トイレの扉交換を実施した。（計60万円程）

5. 保護者の子育て支援

(1) 保護者会を1回開催した。

- (2) 6月、7月にかけて子どもの生活面の様子、保護者からの意見を聞くため保護者面談を行った。

(3) 「利用者・保護者アンケート」の実施

- ア：2月にGoogleフォームを利用し「利用者・保護者アンケート」を実施した。今年度から保護者だけではなく、利用者にもアンケートを行った。
- イ：総合的な満足度では、満足78.9%・やや満足18.4%、合計97.3%であった。
- ウ：おやつや学童での活動内容の報告方法が要望として上がった。結果を保護者・職員にも周知し、次年度に向けた改善内容を検討した。

6. 地域に開かれた施設づくり

- ア：全ての利用者は戸川西自治会に加入した。
- イ：戸川西自治会が主催する地域イベント（どんと焼き・防犯パトロール）に参加し

た。

	職員	利用者
どんど焼き	7 名	3 名
防犯パトロール	1 名	0 名

ウ：学童敷地内の習い事スペースにおいて、外部講師と連携して下記の通り習い事を運営した。

教室名	実施日	加入数
早川書道	火曜日	12 名 (うち 1 名地域の児童が利用)
Neverland 英会話教室	水曜日	6 名

7. ウィズコロナへの転換

ア：新型コロナウイルス感染予防マニュアルを遵守し、感染予防に努めた。

感染予防策について5類に移行したことで、利用者のマスク着用、アルコールの手指消毒は、利用者・保護者の希望に委ねた。ただし、手洗いの声掛け、机の消毒は継続した。

イ：利用者、職員の感染は下記の通り合計9名であった。

令和5年度	利用者	職員	合計
感染者数	9 名	0 名	9 名

8. 災害・安全対策

ア：防災マニュアルを遵守した。

イ：安全訓練避難訓練を下記の通り実施した。

実施日	訓練内容	参加人員		訓練内容
		利用者	職員	
4月10日(月)	火事	38人	4人	火災が発生し、初期消火を行うが消えず、消防署へ通報し避難。
6月8日(月)	火事	26人	4人	火災が発生し、初期消火を行うが消えず、消防署へ通報し避難。
7月12日(水)	救急救命		6人	応急手当講習会 AED

8月1日（火）	地震 火事	41人	5人	地震が発生し、その後火事になる。初期消火を行うが消えず、消防署へ通報し避難。水消火器使用。
10月3日（火）	不審者対応		6人	警察署員に來所して頂き、防犯訓練を行い、110番通報実施。
12月4日（月）	火事	31名	5人	火災が発生し、初期消火を行うが消えず、消防署へ通報し避難。
12月22日（金）	公用車 脱出訓練	36名	5人	公用車からの脱出方法の体験

ウ：公用車の安全対策

- ① 4月に職員に対して「公用車送迎マニュアル」を説明した。
- ② 保育園等での通園バスによる置き去り事故の発生をきっかけに、「送迎受け入れ児童の確認」「送迎職員の体調、乗降人数の確認」が義務となり、公用車マニュアルを改訂し安全対策を強化した。

9. 苦情と意見要望

（1）苦情

- ア：法人の「苦情に関する規則」に基づき、苦情受付担当者および苦情解決責任者を置き、苦情解決にあたった。
- イ：受付に意見要望BOXを置き定期的に職員が確認した。
- ウ：意見要望報告書を活用し職員間で対応を検討した。
- エ：6～7月に家庭での様子、学童での生活状況を保護者と共有するため、全員対象で個人面談を実施した。

【苦情】 2件

- ① 保護者より「ネットスペース内で、他の子どもが投げたゴルフボールが子どもの足に当たった。その事を職員に話したが、『分かった』で済まされた。」と学童のメールに入る。当該職員に確認し、「ゴルフボールを投げた子どもは、その子どもからサッカーボールをぶつけられたとのこと。また、その職員は保冷剤で冷やしてはどうか等、本人へ声かけしたが痛がることはなかったので職員間で共有しなかったとのこと。保護者には、報告しなかったことを謝罪し納得された。

対応⇒当該職員には責任者への報告の徹底や記録に残すように指導した。

- ② 保護者より「送迎スタッフが学校から2人を連れて駐車場に向かうが、学校の連絡ミスで再度他の利用者を迎えに学校に戻った。その際利用者2人を車に残し鍵をかけて向かった」と話を聞いた。安全な送迎をして頂きたいと指摘があった。

対応⇒送迎の流れ、マニュアルについて説明した。学校に行く際、車で待たせるのではなく一緒に連れていく必要があった事を謝罪し、当該職員を指導した。

(2) 意見要望

【意見要望】 7件

- ① 長期休み中に注文弁当を行ってほしい。 4件
⇒平日のみ可能な弁当業者が見つかったため、夏休みから実施した。
- ② 高学年の男子に嫌なことを言われることがあるので気にかけてほしい。 1件
⇒職員会議、ミーティングで情報共有を行った。その男子は学童へ来る日が少なくなり、現在は接触する機会がみられていない。
- ③ 児童に工作 作品を壊された。 1件
⇒職員の目が行き届かなかった事を謝罪した。また、ミーティングにて他の職員にも伝えた。
- ④ 宿題をカラースで行ってくれと助かります。
⇒宿題は、職員が全体に声掛けをしているが、お迎え時間等に合わせて利用者が自主的に行っていることを説明した。

10. 情報開示

ア：事業の透明性を図るため、活動内容の発信についてはInstagram、ホームページ、事業所内連絡ボードを活用した。

イ：保護者に活動の様子を伝えるため、イベントなどで撮った写真を無料で閲覧、ダウンロードできるように工夫した。

11. 遊びの充実

ア：自然体験

松下園と連携し、野菜の収穫体験を行った。利用者たちは自分で収穫したり、新鮮な野菜を食べた。また、蝶やバッタなど沢山の種類の虫を走り回りながら網で捕まえたり、図鑑で調べたりして自然と関わる事が多くできた。

イ：ヤギの飼育

豊かな自然環境の中で「他の学童にはない飼育体験をさせたい」という思いから、ヤギ3頭の飼育を始めた、今年子ヤギも生まれ、子ども達が責任をもって、小屋の掃除やエサやりをした。

ウ：絵本の読み聞かせ

「こどもの生きる力を増し加える本」をキーワードに絵本を選びリスト化して、絵本の読み聞かせを行った。職員が研修等を通して読み聞かせの方法や絵本の選び方

などを学び、子どもたちが楽しんで聞けるようにした。

エ：わらべ唄・伝承遊び

研修等を通して職員が学び、季節に合わせて計画的に実施した。

オ：工作体験

下記の通り季節に合わせたテーマを決め工作を行った。

実施日	内容
6月13日（火）	七夕飾り、短冊作り
7月31日（月）	イオン展示に向けた工作（夏をテーマに）
9月28日（木）	ハロウィン工作
11月 6日（月）	クリスマス工作
1月 9日（火）	パクパク動く人形づくり
2月29日（木）	入学・進級祝い工作

12. 修繕および備品購入等

ノートパソコン	108,909円
壁撤去工事、網戸設置	61,000円
小型冷凍庫	24,890円
床張替え（廊下）	183,000円
床張替え（男子トイレ側）	170,000円
男子トイレドア交換	110,000円
網戸取替、設置工事	107,500円

【内部研修内容】

日時	回数	内容
4月25日（火）	内部研修①	絵本 支援員の手引き 虐待防止について 公用車送迎マニュアル
5月15日（火）	内部研修②	絵本 保育手帳「聴くの実践」
6月22日（木）	内部研修③	絵本 アンガーマネジメント
7月12日（水）	内部研修④	絵本 救急救命講習（AEDの使用） アンガーマネジメント
9月26日（火）	内部研修⑤	絵本 いじめ予防プログラム
10月3日（火）	内部研修⑥	絵本 支援員の手引き 虐待防止について
11月8日（水）	内部研修⑦	絵本 いじめ予防プログラム ケース検討
12月4日（月）	内部研修⑧	絵本 保育手帳 ケース検討
1月22日（月）	内部研修⑨	絵本 公用車送迎マニュアル ケース検討
2月22日（木）	内部研修⑩	絵本 ケース検討 食品アレルギー
3月5日（火）	内部研修⑪	絵本 ケース検討

【外部研修内容】

日時	研修名	参加者	場所
5月12日（金） 5月26日（金）	法人研修① 「接遇とホスピタリティー」	菅原 矢部	はだの松寿苑 スカイホール
6月8日（木）	法人研修② ・レジリエンス研修 ・ストレスマネジメント研修	水島 大畑	はだの松寿苑 スカイホール
6月17日（土）	どうする強度行動障害	山本	秦野保健福祉センター
6月30日（金）	令和5年度 新社員等消防研修会	高倉	神奈川県総合防災センタ

7月 6日 (木)	法人研修③ ・ 接遇、マナー研修 ・ コミュニケーション研修	山本 白幡	はだの松寿苑 スカイホール
7月 6日 (木)	秦野市放課後児童ホーム第1回 支援員研修会	矢部 土居	秦野市保健福祉センター
9月14日 (木)	秦野市応急手当講習会 (児童)	渡邊	秦野市保健福祉センター
9月12日 (火) 9月19日 (火) 9月26日 (火) 9月29日 (金)	神奈川県放課後児童 支援員認定資格研修	土居	横浜市技能文化会館
9月14日 (木) 9月21日 (木) 9月28日 (木) 10月 5日 (木) 11月21日 (火)	傾聴研修	渡邊	はだの松寿苑 スカイホール
12月 7日 (木)	法人研修① ・ レジリエンス研修 ・ ストレスマネジメント研修	山本	はだの松寿苑 スカイホール
1月12日 (金)	防犯研修 ・ 防犯の基礎と実践 ・ 各事業所の防犯を考える	渡邊	松下園
2月 9日 (金)	法人研修③ ・ 接遇、マナー研修 ・ コミュニケーション研修	菅原 吉田	はだの松寿苑 スカイホール
3月 8日 (金)	管理職研修 ・ キャリアを振り返る ・ ハラスメント防止研修 ・ ウェルビーイング研修	渡邊	はだの松寿苑 スカイホール

令和5年度 行事实施報告

4月3日(月)	入社式(10時～/渡邊)オリエンテーション	8月1日(火)	避難訓練、水遊び
4日(火)	入所祝い(大畑)オリエンテーション	2日(水)	放課後コーディネーター来所(2名)
6日(木)	始業式	3日(木)	調理実習(水島)ロールパン
10日(月)	笑顔発信委員会、避難訓練(菅原)	4日(金)	絵画教室、水遊び、かき氷
12日(水)	英会話体験レッスン(8名)		夏休み学童体験イベント(渡邊)5組
17日(月)	誕生会(山本)	7日(月)	スイカ割り
18日(火)	職員会議	8日(火)	誕生会(水島)
24日(月)	連絡調整会議、人材ミーティング(渡邊)	9日(水)	調理実習(土居)餃子・おにぎり
25日(火)	内部研修	10日(木)	しゃぼん玉(渡邊)
5月8日(月)		11日(金)	お話し会(2年生)大畑、山本
11日(木)	笑顔発信委員会(渡邊)	14日(月)	映画外出(渡邊)平塚総合公園
12日(金)	たまねぎ掘り(松下園)	15日(火)	笑顔発信委員会(渡邊)
15日(月)	法人研修(大畑)菅原	17日(木)	かき氷
16日(火)	誕生会(大畑)、内部研修	18日(金)	職員健康診断(はだの松寿苑)
17日(水)	見学(東小 村上さん)	23日(水)	ディキャンプ(4年生以上)8名参加
18日(木)	職員面談(山本)	25日(金)	職員健康診断(松下園)
20日(土)	職員会議	28日(月)	夏祭り遊び(山本・菅原)
22日(月)	地域清掃(キャンパス秦野)渡邊	29日(火)	連絡調整会議、人材会議(渡邊)
26日(金)	職員面談(矢部)		職員会議
27日(土)	監事監査、職員面談(土居)	9月7日(木)	チャリティゴルフ(渡邊)
29日(月)	法人研修(大畑)矢部	9日(土)	福祉人材戦略フォーラム
31日(水)	保護者会①親子交流バーベキュー	11日(月)	寿徳会フェスティバル打合せ
	保護者:26名、児童34名、未就学児:7名	12日(火)	笑顔発信委員会(渡邊)
6月2日(金)	連絡調整会議、人材会議(大畑・渡邊)	14日(木)	放課後児童支援員研修(土居)
3日(土)	じゃがいも掘り(松下園)	15日(金)	傾聴研修(渡邊)、普通救命講習(児童対象/渡邊)
4日(日)	タウンニュース取材	19日(火)	市長へ意見要望書提出(渡邊)
8日(木)	理事会(渡邊)	21日(木)	お話し会(3年生)、放課後児童支援員研修(土居)、職員会議
12日(月)	害虫駆除(山本)	25日(月)	傾聴研修(渡邊)
13日(火)	全国学童保育指導員オンライン研修(渡邊)	26日(火)	誕生会(菅原)、連絡調整会議、人材会議
15日(木)	避難訓練(山本)、法人研修	28日(木)	内部研修、放課後児童支援研修(土居)
19日(月)	工作の日(菅原)、笑顔発信委員会	29日(金)	工作の日(ハロウィン/矢部)、傾聴研修(渡邊)
20日(火)	職員会議		放課後児童支援員研修(土居)
21日(水)	お話し会(2・3年生)大畑	10月2日(月)	防犯訓練(矢部)秦野警察2名来所、寿徳会フェスティバル打合せ
22日(木)	保護者面談(3名)	5日(木)	傾聴研修(渡邊)
26日(月)	職員面談(菅原)保護者面談(4名)	13日(金)	誕生会(高倉)
29日(木)	評議員会(渡邊)保護者面談(3名)	16日(月)	北小振替休日(14日分)
30日(金)	内部研修、誕生会 保護者面談(4名)	17日(火)	職員会議
7月3日(月)	連絡調整会議 人材会議(渡邊)保護者面談(2名)	19日(火)	お話し会(2年生)
6日(木)	秦野市学童保育連絡協議会打合せ	21日(土)	ハロウィンイベント(矢部)
11日(火)	消防研修(高倉)	22日(日)	令和6年度入所説明会(渡邊)
12日(水)	寿徳会フェスティバル打合せ(渡邊)	23日(月)	西小、堀川小振替休日(21日分)さつまいも掘り(松下園)
21日(木)	職員会議	28日(土)	寿徳会フェスティバル(渡邊)
24日(月)	七タイイベント、法人研修(山本)、秦野市放課後児童員研修(矢部・土居)	30日(月)	ハロウィンズンバ(渡邊)
27日(木)	笑顔発信委員会	31日(火)	連絡調整会議(渡邊)
28日(金)	秦野市との意見交換会(渡邊)		人材ミーティング(渡邊)
31日(月)	内部研修		秋のアートイベント
	お話し会(4年生)大畑		
	夏の遠足(渡邊)ぐりんぱ遊園地		
	水遊び(希望者)、かき氷		
	誕生会(高倉)		
	工作の日(土居)		

11月1日(水)	秦野市学童保育連絡協議会意見交換会 令和6年度新入生入所受付開始 理事会(渡邊)職員面談(那須) 内部研修、秦野市子ども子育て会議(渡邊)	3月4日(月)	理事会
6日(月)	秦野市要望書への個別ヒヤリング(渡邊)	5日(火)	内部研修
8日(水)	インフルエンザ予防接種、里芋掘り	8日(金)	法人研修(渡邊)
9日(木)	笑顔発信委員会(渡邊)	11日(月)	笑顔発信委員会(渡邊)
13日(月)	ミルク(ヤギ)の徐角	12日(火)	職員会議
14日(火)	評議員会(渡邊)	13日(水)	評議員会(渡邊)
15日(水)	誕生会(白幡)	18日(月)	誕生会(菅原)
20日(月)	傾聴研修(大畑、渡邊)	19日(火)	1日保育
21日(火)	職員会議	25日(月)	修了式 連絡調整会議、人材会議
22日(水)	連絡調整会議、人材会議	26日(火)	進級祝い、お別れ会(大畑、水島)
27日(月)		29日(金)	春の遠足(八景島シーパラダイス) 渡邊
12月4日(月)	避難訓練⑤(水島)		
7日(木)	法人研修(山本)		
11日(月)	お話し会(4年生) 大畑・水島		
12日(火)	職員会議		
14日(木)	スタジオコネコアートイベント		
18日(月)	お話し会(1年生)		
21日(木)	クリスマス会(土居) セレクト昼食(マクドナルド)		
22日(金)	公用車脱出訓練(矢部)		
25日(月)	連絡調整会議		
28日(木)	大掃除、焼き芋(矢部)		
1月4日(木)	工作の日(大畑)		
5日(金)	正月遊び(白幡・菅原)		
10日(水)	令和6年度内定式(渡邊)		
11日(木)	誕生会(土居)		
12日(金)	法人研修(渡邊)		
15日(月)	駄菓子屋さん(水島)、笑顔発信委員会(渡邊)		
16日(火)	職員会議		
18日(木)	お話し会(1年生/大畑・菅原)		
20日(土)	職員新年会(理事長・職員9名)		
22日(月)	内部研修		
29日(月)	連絡調整会議(渡邊)、人材会議(渡邊)		
2月4日(日)	令和6年度入所者説明会(14組参加)		
8日(木)	ヤギの名前決定(オス:だいふく、メス:クリーム)		
9日(水)	法人研修(菅原・吉田)		
14日(水)	バレンタインおやつ(水島)		
15日(木)	お話し会(大畑・土居)		
17日(土)	新入生個人面談(3名)		
19日(月)	誕生会(水島)、笑顔発信委員会(渡邊)		
20日(火)	職員会議		
21日(水)	新入生個人面談(1名)		
22日(木)	内部研修		
26日(月)	お話し会(1年生) 水島・矢部		
27日(火)	連絡調整会議(渡邊)、人材会議(渡邊)		
29日(月)	ステップワゴン点検 工作の日(水島・吉田)		